

中学校・高等学校英語教員のための評価事例集

話すこと 書くこと 編

PRACTICAL SPEAKING AND WRITING
ASSESSMENT TASKS FOR ENGLISH TEACHERS



モデル動画
付き

Supporting Teachers in Assessing
Productive Language Skills

神奈川県立総合教育センター

KANAGAWA PREFECTURAL INTEGRATED EDUCATION CENTER



目次

はじめに ～評価事例集作成の趣旨～（総合教育センター 所長 倉田 寛）	3
具体的な目標において生徒と教師が協力し合うために（武蔵野大学 江原 美明 特任教授）	4
「中学校・高等学校英語教員のための評価事例集 話すこと・書くこと編」の意義 （玉川大学 村越 亮治 准教授）	5
CEFR-Jと「中学校・高等学校英語教員のための評価事例集 話すこと・書くこと編」	6
パフォーマンステスト実施のTIPS	7
評価事例ページの凡例	8
パフォーマンステストの設計と評価に生成AIをいかすヒント — CEFR-Jと教師の役割を踏まえて —	9
CEFR-J 本体：日本語版（version 1.2）	11

話すこと〔やり取り〕編

14

事例1 [A1.3] 質疑応答	15
事例2 [A2.1] 道案内	18
事例3 [A2.2] 買い物	21
事例4 [B1.1] 日常会話	24
事例5 [B1.2] 店での交渉	28
事例6 [B2.1] ディスカッション	31

話すこと〔発表〕編

36

事例1 [A1.3] 学校行事の紹介	37
事例2 [A2.1] 調査結果の発表	39
事例3 [A2.2] 意見の発表	43
事例4 [B1.2] 記事の要約と意見	45
事例5 [B2.1] 発表と質疑応答	48

書くこと編

54

事例1 [A1.3] 感想文	55
事例2 [A2.1] メッセージ	57
事例3 [A2.2] 本の紹介文	59
事例4 [B1.1] 説明文	61
事例5 [B1.2] 意見文	63
事例6 [B2.1] 依頼メール	68

参考文献等	71
-------	----

はじめに ～評価事例集作成の趣旨～

現行の学習指導要領では、これまで課題であった外国語によるコミュニケーション能力の育成を意識した取組、特に「話すこと」及び「書くこと」などの言語教育の充実が大きなポイントになっています。現在の英語教育においては、授業で生徒が英語を使用し、情報や考えを伝え合うこと、そして表現を適切に評価するパフォーマンステストを充実させることが重要です。しかしながら令和5年度英語教育実施状況調査結果では、「授業における生徒の英語による言語活動が授業の半分以上」と回答した県内の学校の割合は、高等学校で 55.1%と全国平均をわずかに上回っているものの、中学校では 71.2%と下回っています。また「パフォーマンステスト『話すこと』『書くこと』の両方を実施している割合」は、中学校では 96.6%と全国平均を上回っているものの、高校では 39.0%と、大幅に下回っています。一方、全国の中学校 3 年生を対象とした令和 5 年度全国学力・学習状況調査の結果を見ると、「書くこと」は 24.1%、「話すこと[やり取り]」は 14.5%、「話すこと[発表]」は 4.2%と極めて低い正答率で、中学校におけるパフォーマンステストの高い実施率が、「話すこと」と「書くこと」の技能の向上に結び付いていない現状が見えてきました。

この「中学校・高等学校英語教員のための評価事例集 話すこと・書くこと編」は、発信力を測るパフォーマンステストにおける課題を、組織的・継続的な取組によって改善を図るために、総合教育センターが作成しました。

事例を参考とする際には、それぞれの問題がどのような力を測定しているのか(何ができるようになることを目標としているのか=CAN-DO)、その前提として単元中でどのような学習指導や言語活動を行うべきかを常に意識し、「指導と評価の一体化」の充実を図ってほしいと思います。

また、この事例集は、日本の英語教育での利用を目的に構築された、新しい到達度指標である「CEFR-J」を基準として編集することで、校種や科目を問わず、生徒の実情に応じて中学校でも高等学校でも活用できるようになっています。教育振興基本計画の5つの基本方針の内、第一に掲げられた「グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成」に向けて、効果的なパフォーマンステストの実施が、生徒の英語力向上に役立つことを期待しています。

さらに、各学校の組織的な授業改善に向けた外国語科内の研究協議の参考資料としても、この事例集を活用いただきたいと考えています。この事例集が各学校における到達目標の見直し、並びに生徒の学習段階に応じたより適切な学習指導や評価方法の開発の一助となることを望みます。

総合教育センターでは、今後さらに学習評価についての研究を深め、この事例集の内容について必要に応じて見直しを行っていく予定です。御意見・御質問等ございましたら、遠慮なく当センターまでお寄せください。

結びにあたり、この事例集の作成にあたっては、平成 27 年に神奈川県立国際言語文化アカデミア[※]が発行した「高等学校英語教員のための定期テスト作成マニュアル」を参考にしています。その著者である、江原美明氏(現武蔵野大学特任教授)、村越亮治氏(現玉川大学准教授)には、本事例集作成にあたって、多大なる御指導・御助言をいただきました。この場を借りて、深く感謝申し上げます。

※国際言語文化アカデミア…令和3年3月末廃止。教員研修事業については、総合教育センターに引き継がれています。

令和7(2025)年3月
神奈川県立総合教育センター所長
倉田 寛

具体的な目標において生徒と教師が協力し合うために

学校現場で生徒の英語力を高めるには、生徒と教師の協力が不可欠です。そのためには、「これが出来るといいな」、「これが出来るようになると将来役立つな」と生徒が納得できる具体的な目標を生徒と教師が共有し、それに向けてともに努力し、達成感を味わったり、「もっと頑張ろう」と思ったりできる環境づくりが重要です。理想論かもしれませんが、各学校の生徒のニーズに応じた調整をすることで、こうした環境づくりは可能だと信じています。

この度編集された「中学校・高等学校英語教員のための評価事例集 話すこと・書くこと編」には、前述した生徒と教師の協力を可能にするための要素が数多く含まれています。第一に、それぞれの評価タスクに、CEFR-Jレベルや、実生活に近い CAN-DOゴールが示されているので、生徒と教師が具体的な目標を共有することを助けます。第二に、ルーブリック形式の評価基準が示されているので、生徒も教師もよりよい評価となる(α評価になる)ために何をすべきかが明確になっています。第三に、評価タスクに対する、生徒の発話あるいは作文のサンプルが示されているので、サンプルと比較しながら、担当生徒のレベルにあった指導と評価の調整をし、生徒と教師の協力態勢を整えることを助けます。

発信スキルは、自分が使える範囲内の語彙・文法を使うことで、課題を達成できた、という充実感を生徒が味わいやすいスキルです。リスニング力が必要なやり取りでも、turn-taking をコントロールしたり、相手に繰り返しや明確化要求をしたりすることで、自分のペースで課題を達成できます。これは、語彙や文法力が不足している中でリスニングやリーディングに必死に取り組むのとは違います。限られた時間で一定量の教材をこなし受容技能を育成することは、私たち教員が常に悩む課題ですが、今回の「話すこと・書くこと編」を参照しながら、生徒が達成感を味わえる場面を増やすことで、生徒の英語習得へのやる気を高めることができるのではないかと考えます。

最後になりましたが、昨年度の「高等学校英語教員のための評価事例集 聞くこと・読むこと編」に引き続き、二年間にわたり二つの評価資料の作成にご尽力された総合教育センター指導主事、担当者のみなさま、中・高現場での業務に加えて本プロジェクトの研究者として貢献された方々に敬意を表し、今後のご活躍を祈念いたします。

武蔵野大学 江原美明

「中学校・高等学校英語教員のための評価事例集 話すこと・書くこと編」の意義

神奈川県立総合教育センター・外国語チームの先生方が、先に作成された「高等学校英語教員のための評価事例集 聞くこと・読むこと編」に続いて、本事例集に取り組みましたことには、想像以上に大変なご苦労があったと拝察します。話すこと・書くことについては、トピックを決めてしまえば、とりあえずタスクやテストは何となくできてしまいますが、より教育効果が高く診断力のあるものにするには、「○」か「×」かではない評価スケール、実施の前提となる指導、生徒の現状・目標を踏まえたレベル設定を考えなければなりません。評価については、「正確さ」「複雑さ」「流暢さ」等の言語分析的観点で行うか、学習指導要領の資質・能力の三つの観点で行うか、という意味決定が必要です。また、生徒の英語力に応じて、事前にどのような準備をさせ、どの程度の支援を与えるかということも決めておかなければなりません。さらに、生徒の発達段階に合わせて、徐々に難易度を上げていけるようにタスクやテストの段階を設けなければ、トピック先行の場当たりの実施に終始してしまうかもしれません。外国語チームのみなさんは、このような課題をクリアすべく、神奈川県英語教師としての使命感を持って研究・協議を重ね、試作・推敲をくり返してこられました。特にレベル設定については、CEFR-Jを「参照枠」とし、各レベルの能力記述文を、タスク(テスト)の内容に応じて解釈したうえで到達目標として適用しています。現在の生徒の力に基づいたタスク(テスト)の設計に迷われた時には大いに参考になると思います。もちろん、高校の教科書の種類はとて多く、トピックもさまざまなので、事例をそのまま使えるということはあまりないかもしれません。しかし、「うちの生徒の今のレベルだとこのようなタスク(テスト)がやれるのか」という認識のもとに、「学習したこと、生徒の生活や経験に基づいて、これをどのようにアレンジできるか」を科目担当の先生方が検討・協議することで、より効果的なものにすることができるとでしょう。「このタスク(テスト)ができるようになるためには、日頃の指導でこういうことを指導して、こういうことを考えさせておく必要があるよね」というところまで協議が進めば、さらに理想的です。言われて久しい「指導と評価の一体化」を実現するために、本事例集が県内のすべての英語の先生方に読まれ、それぞれの学校現場での授業改善がさらに進むことを願っています。最後になりましたが、総合教育センター・外国語チームの先生方のご尽力に、改めて敬意を表します。

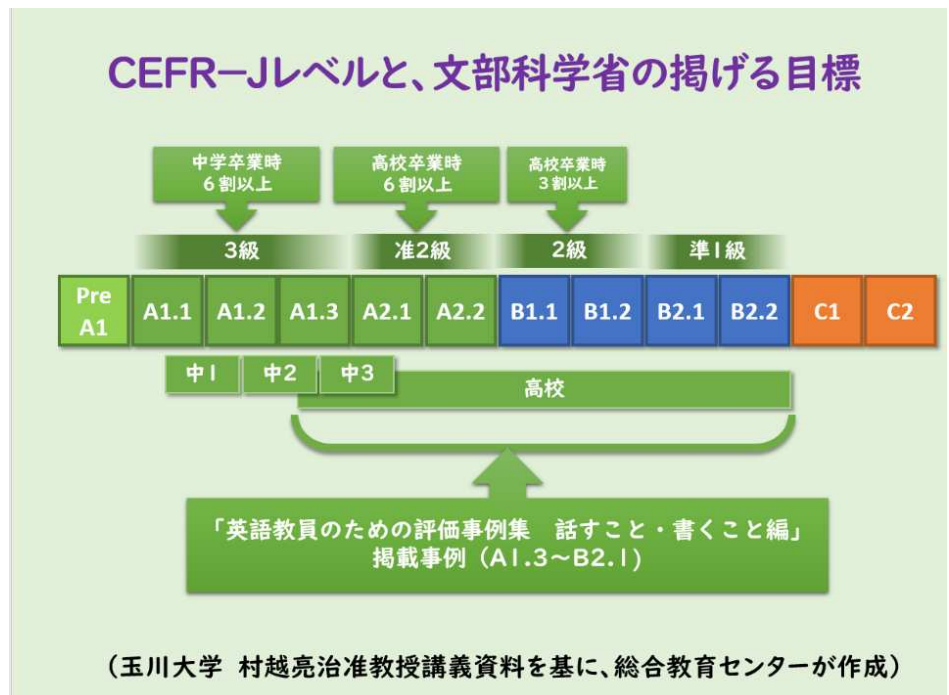
玉川大学 村越 亮治

CEFR-Jと「中学校・高等学校英語教員のための評価事例集 話すこと・書くこと編」

CEFR (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment 外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ共通参照枠) は、学習段階ごとの到達基準の設定、及び国際的な比較が可能な実用的なツールとして、2001年に欧州評議会が発表したものです。CEFRは語学技能の相互認定の拠り所となるもので、留学や、労働市場における人材の流動性を高めることを容易にし、近年は学校教育におけるカリキュラム改革等にしばしば用いられています。「共通参照レベル」として、言語能力をA1・A2 レベル(基礎段階の言語使用者)、B1・B2(自立した言語使用者)、C1・C2(熟達した言語使用者)の6段階に分け、「聞くこと」、「読むこと」、「やり取り」、「表現」(以上2つは「話すこと」、「書くこと」)の五つのカテゴリーに分けて言語活動の内容を表し、現行の学習指導要領はこれを参考に、英語の目標を設定しています。

CEFR レベルは第3期教育振興基本計画から英語力目標の測定指標として使用されており、2023年度から5年間の教育政策の方向性を示す第4期教育振興基本計画において掲げられた英語力目標は、中学校卒業段階でA1レベル相当が6割以上、高校卒業段階でA2レベル相当が6割以上、B1レベル相当が3割以上と、第3期よりもさらに引き上げられました。目標達成状況の把握は文部科学省が実施する英語教育実施状況調査によって行われており、2023年度の調査でA1レベル相当の中学生の割合は50.0%、A2レベル相当の高校生の割合は50.6%、B1レベル相当の高校生の割合は19.8%でした。全体の英語力は着実に向上し続けていますが、中学生・高校生ともに目標は未達で、グローバル社会における人材育成のため、さらに生徒や教師の英語力や指導力の向上を図る必要があります。

今回この「中学校・高等学校英語教員のための評価事例集 話すこと・書くこと編」において基準として採用している [CEFR-J](#) は、CEFR に基づいて日本人学習者に向けて開発された言語到達度指標です。日本人学習者の約8割がAレベル、2割程度がBレベルであり、Cレベルの学習者はほとんどいないという投野ら(2013)による研究結果を受けて、CEFR-JはCEFRのAレベル及びBレベルを細分化し、五つの領域に渡ってPre-A1からC2までの12段階で構成されています。総合教育センターではこの事例集を作成するに当たり、CEFR-Jの研究者である玉川大学の村越亮治准教授をお招きして勉強会を開催し、チームで議論を重ねた結果、この事例集には、**A1.3~B2.1 レベルの評価事例を掲載**することとしました。勤務校の生徒の目指すべきパフォーマンス=CAN-DO に基づき、適切なレベルの事例を参考に、生徒の話す力・書く力の向上に寄与するパフォーマンステストを実施してください。



パフォーマンステスト実施のTIPS

目標に準拠したパフォーマンステストを実施しましょう。

・キーワード:年間のCAN-DOを意識した指導と評価

授業で扱った話題に関連した課題にするなどして、語彙や表現、文法事項などの言語材料が活用できるようなテストを行いましょう。

・キーワード:指導と評価の一体化

生徒のコミュニケーションを図る力の育成につながるようなパフォーマンステストを行いましょう。

・キーワード:目的・場面・状況のあるパフォーマンステスト

学校の外国語(英語)の同じ科目を担当する教師で、テストの内容や評価時期などを考え計画しましょう。

・キーワード:同僚との協働

テストを受けるまで待つ生徒の扱い、テストでの生徒のICTの活用、テストの記録方法や採点方法など、学校の実態に応じて工夫しましょう。

・キーワード:実施のための工夫

テストを実施したら、課題を次のテストに生かし、テストの改善を図りましょう。

・キーワード:評価の目的は教師の指導改善と生徒の学習改善

「高等学校外国語科におけるパフォーマンステスト参考資料」より抜粋



評価事例ページの凡例

1. **CEFR-J レベル**：CEFR-J は CEFR をベースに、日本の英語教育での利用を目的に構築された、英語能力の到達度指標です。中学校・高等学校における英語授業の実情を鑑み、A1.3~B2.1 レベルの評価事例を掲載しています。
2. **技能**：五つの領域のうち、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」のいずれかを記載しています。
3. **CAN-DO**：CEFR-J の指標は、「言葉を使って何ができるか」ということを文章で明示する、CAN-DO という能力記述子 (descriptor: デスクリプタ) を用いてレベル別に記述されています。この事例集では CEFR-J の CAN-DO を参照枠とし、タスクに合わせた表現を使用しています。
4. **パフォーマンステスト**

内容：[『CEFR-J CAN-DO テスト: サンプル版』\(Version 1.0\)](#) を参考に、実際にこのレベルに到達しているかどうかを評価するためのパフォーマンステストを作成しました。コミュニケーションを図る力の育成につながるよう、生徒の世界からなるべくかけ離れていない目的・場面・状況を設定しています。

採点の基準：ルーブリックは、教員にとっては指導のゴール、生徒にとっては目指すべきパフォーマンスを示すものです。この事例集では観点別評価における3観点(『知識・技能』『思考・判断・表現』『主体的に学習に取り組む態度』)のルーブリックをすべての事例に記載し、また一部の事例には、言語分析的な観点も併せて記載しています。それぞれの観点で目標とするパフォーマンスがどのようなものか、具体的にモデルを示すなどして生徒と共有し、指導と評価の一体化に努めましょう。

※「話すこと」の事例では、モデルとなるパフォーマンスの動画にアクセスすることができます。

※「b」以上の評価が得られることが、この CEFR-J レベル到達の目安となります。
5. **生徒の解答例及び採点の結果**：生徒の解答例と、それをどのように評価するか、理由を含めて掲載しています。その評価のポイントとなる箇所に、下線が引かれています。
- ※「書くこと」の解答例は、[CWLA \(CEFR-based Writing Level Analyzer\)](#) を参考にして作成しています。
6. **留意点**：教員の指導と評価における留意点を記載しています。

パフォーマンステストの設計と評価に生成AIをいかすヒント — CEFR-J と教師の役割を踏まえて —

1. CEFR-J と生成AI

CEFR-J は言語教育の基準 CEFR (Common European Framework of Reference for Languages) を、日本の英語教育向けに細分化・調整したもので、近年、この活用が進んでいます。特に A~B レベルの達成を目指す中学校・高等学校での体系的な指導にこの到達度の指標をいかすことが期待されています。

一方、技術の進歩を受けて、教材・テストの作成や、生徒のアウトプットの分析・評価において、生成AIの活用が新たな可能性として注目されています。CEFR-J と生成AIを組み合わせることで、パフォーマンステストの作成や評価がより効果的かつ効率的になることが期待できます。

2. 生成AIを活用できる場面

1) パフォーマンステストの作成支援

- ・ CEFR-J 準拠の CAN-DO、テストサンプル、評価基準、解答例などを生成AIにインプットし、類似の問題や解答例を生成させ、それらを参考に、CEFR-J の枠組みをいかした問題を作成する。

2) パフォーマンステストの評価支援

- ・ 生徒の英文を生成AIにインプットし、そこで使用されている語数や語彙レベル (CEFR-J 準拠)、使用語彙の幅 (Type 数) などを分析させ、それらを参考に、生徒の習熟度を定量的に評価する。
- ・ 生徒の英文を生成AIにインプットし、そこで使用されている英語の文法エラーや不自然な表現を抽出し、それらを参考に、英文の改善の方向性を提示する。

3) 生徒へのフィードバック支援

- ・ 生徒の英文を生成AIにインプットし、「肯定的なコメント」や「改善のための具体的な方策」を含め提案させ、それらを参考に、生徒の学習意欲を高め、自己調整を促すためのフィードバックを作成する。

プロンプト例



3. 生成AI活用の留意点

- ・ 指導と評価の一体化と教師の主導性

生成AIを活用する前提として、教師が生徒の個々の状況を十分に把握したうえで指導計画や目標を設定することが重要です。評価では、「生徒が学習到達目標をどの程度達成しているか」を、教師が責任をもって判断する必要があります。

- ・ 生成AIの限界を踏まえた活用

指導と評価において、生成AIの活用は補助的なものとするのが重要です。AIに任せすぎはいけません。生成AIの長所と短所を理解した上で活用し、教師は生徒のパフォーマンスをしっかりと観察し、専門的な判断に基づく指導と評価を行います。

- ・ 「語彙・文法の正確さ」に偏らない評価基準の作成と運用

生成AIを適切に活用できれば「語彙・文法の正確さ」の評価は容易になります。しかし、それだけではなく、CEFR-JのCAN-DO記述文を参考に、「内容の質」「論理構成」など、生徒の英語を多面的に評価できるルーブリックを作成する必要があります。

- ・ 生成AIの出力の根拠や理由の検証

生成AIが提示する分析結果や修正案を鵜呑みにせず、教師がその妥当性を検証することが重要です。必要に応じて生成AIに「その根拠や理由」を説明させることで、なぜその結論に至ったかを確認し、生成AIが生成したものが妥当かどうかを見極める必要があります。

- ・ 生徒へのフィードバックと自己調整の促進

生成AIが作成したフィードバックの中から、教師が、生徒にとって有益な情報とそうでないものを取捨選択し、生徒が理解しやすいよう内容を整理して伝えることが重要です。改善のための具体的方策を、個々の生徒の背景や学習状況に合わせて、教師が精選して伝えることで、生徒の主体的な学習が促されます。

- ・ スピーキングでの生成AIの活用

生徒の音声データを、生成AIに分析させることは、専門的なサービスを活用しない限りは、難しいのが現状です。生徒からスピーチ原稿や会話のスクリプトを回収し、その分析に生成AIを活用するほうが容易かもしれません。

※生徒が、自分自身の英語の読み方がどれくらい正確かを確認するために、Google ドキュメントの音声認識機能などを活用することはそれほど難しくありません。

本事例集に掲載している
CEFR-Jレベル

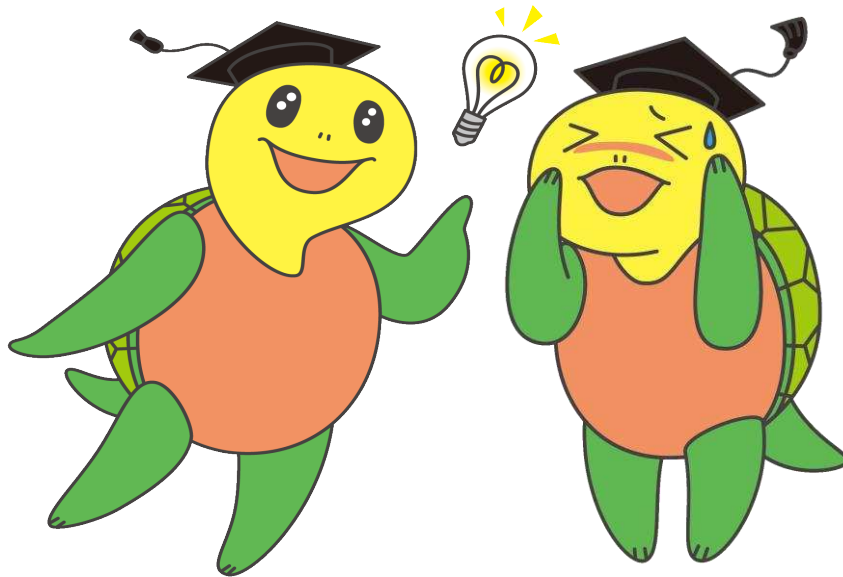
レベル	PreA1	A1.1	A1.2	A1.3	A2.1	A2.2	B1.1	B1.2	B2.1	B2.2	C1	C2
話す	<p>基本的な語句を使って、「助けて！」や「～が欲しい」などの自分の要求を伝えることができる。また、必要があれば、欲しいものを指さしながら自分の意思を伝えることができる。</p>	<p>なじみのある定型表現を使って、時間・日にち・場所について質問したり、質問に答えたりすることができる。</p>	<p>基本的な語や言い回しを使って日常のやりとり(何ができなからできるかや色についてのやりとりなど)において単純に回答することができる。</p>	<p>趣味、部活動などのなじみのあるトピックに関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。</p>	<p>順序を表す表現であるfirst, then, nextなどのつなぎ言葉や「右に曲がって」や「まっすぐ行って」などの基本的な表現を使って、単純な道案内をすることができる。</p>	<p>簡単な英語で、意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる。</p>	<p>身近なトピック(学校・趣味・将来の希望)について、簡単な英語を幅広く使って意見を表明し、情報を交換することができる。</p>	<p>病院や市役所といった場所において、詳細にまた自信を持って、問題を説明することができる。関連する詳細な情報を提供して、その結果として正しい処置を受けることができる。</p>	<p>ある程度なじみのあるトピックならば、新聞・インターネットで読んだり、テレビで見たニュースの要点について議論することができる。</p>	<p>一般的な分野から、文化、学術などの、専門的な分野まで、幅広いトピックの会話に積極的に参加し、自分の考えを正確かつ流暢に表現することができる。</p>	<p>言葉をことさら探さずに流暢に自然に自己表現ができる。社会上、仕事上の目的に合った言葉遣いが、意のままに効果的にできる。自分の考えや意見を正確に表現でき、自分の発言を他の話し手の発言にうまくあわせることができる。</p>	<p>いかなる会話や議論でも無理なくこなすことができ、慣用表現、口語体表現をよく知っている。自分を流暢に表現し、細かい意味のニュアンスを正確に伝えることができる。表現上の困難に出会っても、周りの人に気づかれぬように修正し、うまく繕うことができる。</p>
	<p>一般的な定型の日常の挨拶や季節の挨拶をしたり、そうした挨拶に応答したりすることができる。</p>	<p>家族、日課、趣味などの個人的なトピックについて、(必ずしも正確ではないが)なじみのある表現や基本的な文を使って、質問したり、質問に答えたりすることができる。</p>	<p>スポーツや食べ物などの好き嫌いなどのとてもなじみのあるトピックに関して、はっきりと話されれば、限られたレパートリーを使って、簡単な意見交換をすることができる。</p>	<p>基本的な語や言い回しを使って、人を誘ったり、誘いを受けることができる。</p>	<p>補助となる絵やものを用いて、基本的な情報を伝え、また、簡単な意見交換をすることができる。</p>	<p>予測できる日常的な状況(郵便局・駅・店など)ならば、さまざまな語や表現を用いてやり取りができる。</p>	<p>個人的に関心のある具体的なトピックについて、簡単な英語を多様に用いて、社交的な会話を続けることができる。</p>	<p>駅や店などの一般的な場所、間違えた切符の購入などといったサービスに関する誤りなどの問題を、自信を持って詳しく説明することができる。相手が協力的であれば、丁寧に依頼したり、お礼を言って、正しいものやサービスを受けることができる。</p>	<p>母語話者同士の議論に加われないこともあるが、自分が学んだトピックや自分の興味や経験の範囲内のトピックなら、抽象的なトピックであっても、議論できる。</p>	<p>幅広い慣用表現を使って、雑誌記事に対して意見を交換することができる。</p>		
	<p>簡単な語や基礎的な句を用いて、自分についてのごく限られた情報(名前、年齢など)を伝えることができる。</p>	<p>基礎的な語句、定型表現を用いて、限られた個人情報(家族や趣味など)を伝えることができる。</p>	<p>前もって発話することを留意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単な意見を言うことができる。</p>	<p>前もって発話することを留意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で意見を言うことができる。</p>	<p>一連の簡単な語句や文を使って、自分の趣味や特技に触れながら自己紹介をすることができる。</p>	<p>写真や絵、地図などの視覚的補助を利用して、一連の簡単な語句や文を使って、自分の毎日の生活に直接関連のあるトピック(自分のこと、学校のこと、地域のことなど)について、短いスピーチをすることができる。</p>	<p>写真や絵、地図などの視覚的補助を利用して、一連の簡単な語句や文を使って、自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について語るることができる。</p>	<p>自分の考えを事前に準備して、自分の状況(ただし自分の関心事)について、自分の意見を加えてある程度すらすらと発表し、聴衆から質問ができれば相手に理解できるように答えることができる。</p>	<p>ある視点に賛成または反対の理由や代替案などをあげて、事前に用意されたプレゼンテーションを聴衆の前で流暢に行うことができ、一連の質問にもある程度流暢に対応することができる。</p>	<p>要点とそれに関連する詳細の両方に焦点を当てながら、流暢にプレゼンテーションができ、また、あらかじめ用意されたテキストから自然にはなれて、聴衆が興味のある点に対してプレゼンテーションの内容を調整し、そこでもかなり流暢に容易に表現できる。</p>	<p>複雑なトピックを、派生的問題にも立ち入って、詳しく論述することができる。一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめ上げることができる。</p>	<p>状況にあった文体で、はっきりと流暢に記述・論述ができる。効果的な論理構成によって聞き手に重要点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。</p>
表	<p>前もって話すことを留意した上で、基礎的な語句、定型表現を用いて、人前で実物などを見せながらその物を説明することができる。</p>	<p>基礎的な語句、定型表現を用いて、簡単な情報(時間や日時、場所など)を伝えることができる。</p>	<p>前もって発話することを留意した上で、日常生活に関する簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単に描写することができる。</p>	<p>前もって発話することを留意した上で、日常生活に関する簡単な事実を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で描写することができる。</p>	<p>写真や絵、地図などの視覚的補助を利用して、一連の簡単な語句や文を使って、身近なトピック(学校や地域など)について短い話をすることができる。</p>	<p>一連の簡単な語句や文を使って、意見や行動計画を、理由を挙げて短く述べることができる。</p>	<p>自分の考えを事前に準備して、自分の状況(ただし自分の関心事)について、自分の意見を加えてある程度すらすらと発表し、聴衆から質問ができれば相手に理解できるように答えることができる。</p>	<p>自分の関心事であれば、社会の状況(ただし自分の関心事)について、自分の意見を加えてある程度すらすらと発表し、聴衆から質問ができれば相手に理解できるように答えることができる。</p>	<p>ディベートなどで、そのトピックが関心のある分野のものであれば、論拠を並べ自分の主張を明確に述べることができる。</p>	<p>ディベートなどで、社会問題や時事問題に関して、補助的観点を関連事例を詳細に加えながら、自分の視点を明確に展開することができる。</p>		

CEFR-J (日本語版)

本事例集に掲載している
CEFR-Jレベル

	レベル	PreA1	A1.1	A1.2	A1.3	A2.1	A2.2	B1.1	B1.2	B2.1	B2.2	C1	C2
書 く こ と		アルファベットの大文字・小文字、単語のつづりをブロック体で書くことができる。	住所・氏名・職業などの項目がある表を埋めることができる。	簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと(好き嫌い、家族、学校生活など)について短い文章を書くことができる。	自分の経験について、辞書を用いて、短い文章を書くことができる。	日常的・個人的な内容であれば、招待状、私的な手紙、メモ、メッセージなどを簡単な英語で書くことができる。	身の回りの出来事や趣味、場所、仕事などについて、個人的経験や自分に直接必要のある領域での事柄であれば、簡単な描写ができる。	自分に直接関わりのある環境(学校、職場、地域など)での出来事を、身近な状況で使われる語彙・文法を用いて、ある程度まとまりのあるかたちで、描写することができる。	新聞記事や映画などについて、専門的でない語彙や複雑でない文法構造を用いて、自分の意見を含めて、あらすじをまとめたり、基本的な内容を報告したりすることができる。	自分の専門分野であれば、メールやファックス、ビジネス文書を、感情の度合いをある程度含め、かつ用途に合った適切な文体で、書くことができる。	自分の専門分野や関心のある事柄であれば、複雑な内容をきむ報告書や論文などを、原因や結果、仮定的な状況も考慮しつつ、明瞭かつ詳細な文章で書くことができる。	いくつかの視点を示して、明瞭な構成で、かなり詳細に自己表現ができる。自分が重要だと思う点を強調しながら、手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題について書くことができる。読者を念頭に置いて適切な文体を選択できる。	明瞭で流暢な文章を適切な文体で書くことができる。効果的な論理構造で事情を説明し、その重要点を読み手に気づかせ、記憶にとどめさせるよう、複雑な手紙、レポート、記事を書くことができる。仕事や文学作品の概要や評論を書くことができる。
		単語のつづりを1文字ずつ発音されれば、聞いてそのとおり書くことができる。また書いてあるものを写すことができる。	自分について基本的な情報(名前、住所、家族など)を辞書を使えば短い句または文で書くことができる。	簡単な語や基礎的な表現を用いて、メッセージカード(誕生日カードなど)や身近な事柄についての短いメモなどを書く。	趣味や好き嫌いについて複数の文を用いて、簡単な語や基礎的な表現を使って書くことができる。	文と文を and, but, because などの簡単な接続詞でつなげるような書き方であれば、基礎的・具体的な語彙、簡単な句や文を使った簡単な英語で、日記や写真、事物の説明文などのまとまりのある文章を書くことができる。	聞いたり読んだりした内容(生活や文化の紹介などの説明や物語)であれば、基礎的な日常生活語彙や表現を用いて、感想や意見などを短く書くことができる。	身近な状況で使われる語彙・文法を用いれば、筋道を立てて、作業の手順などを示す説明文を書くことができる。	物事の順序に従って、旅行記や自分史、身近なエピソードなどの物語文を、いくつかのパラグラフで書くことができる。また、近況を詳しく伝える個人的な手紙を書くことができる。	そのトピックについて何が自分が知っているか、多くの情報源から統合して情報や議論を整理しながら、それに対する自分の考えの根拠を示しつつ、ある程度の結束性のあるエッセイやレポートなどを、幅広い語彙や複雑な文構造をある程度使って、書くことができる。	感情や体験の微妙なニュアンスを表現するのであれば、重要点や補足事項の詳細を適切に強調しながら、筋道どった議論を展開しつつ、明瞭で結束性の高いエッセイやレポートなどを、幅広い語彙や複雑な文構造を用いて、書くことができる。		

中学校・高等学校英語教員のための評価事例集
話すこと [やり取り] 編



SPEAKING [INTERACTION] COMPILATION

1. CEFR-J レベル: A1.3
2. 技能: 話すこと[やり取り]
3. Can Do: 日常的な話題について、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。

4. パフォーマンステスト:

(ア) 内容

・指示文

新しいクラスメートとお互いのことを知るために、会話をしましょう。先生がクラスメートの役をします。先生が示すカードから1枚選び、裏面に書かれたテーマについて、あなたから質問をすることで、会話を始めてください。クラスメートからの質問にも答えてください。会話の中で、2回以上は質問をしてください。準備時間は1分です。

(テーマ) 趣味・部活動・学校生活・食べ物

・実施方法

- ①生徒は一人ずつテストを受ける。
- ②テーマが書かれた4枚のカードを裏返しにして、生徒に1枚選ばせる。
- ③1分間準備をさせる。
- ④生徒と会話をし、採点の基準に沿って評価を行う。

(イ) 採点の基準

条件1: クラスメートからの質問に答えている。

条件2: クラスメートに2回以上質問をしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話している。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝えている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝えようとしている。
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて話している。	二つの条件を満たして話して伝えている。	二つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5. 生徒の発話及び採点の結果の例

※ 「部活動」についてやり取りをする場合

【生徒 A】

教師: Takuya, what club are you in?

生徒 A: I am a member of the brass band club.

教師: What instrument do you play?

生徒 A: I play the clarinet and I would like to share some beautiful melodies with audience. How about you? What club are you in?

教師: I am a member of the dance club.

生徒 A: What genre of dance do you enjoy in the club?

教師: I dance a lot of hip-hop.

生徒 A: Oh! I love it too! Thank you.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 A	a	a	a
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		
	※ <u>下線部</u> は関連する情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝えていると判断した根拠の例。		

【生徒 B】

教師: Takuya, what club are you in?

生徒 B: I am in brass bands.

教師: What do you do there?

生徒 B: I play a clarinet. How about you?

教師: I am a member of the dance club.

生徒 B: What dance do you like?

教師: I like K-pop.

生徒 B: Oh! I love it too! Thank you.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 B	b	b	b
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

【生徒 C】

教師: Takuya, what club are you in?

生徒 C: I had brass band.

教師: What instrument do you play?

生徒 C: I'm good.

教師: I am on the dance club.

生徒 C: Why?

教師: I need to lose weight.

生徒 C: Thank you!

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 C	c	c	c
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

6. 留意点

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、日常的なことについてやり取りする活動を十分に行う。
- 「正しい英文で話している」「関連する情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝えている」とはどのようなことか、事前に生徒に例示し、指導する。



話すこと[やり取り]編 事例 2

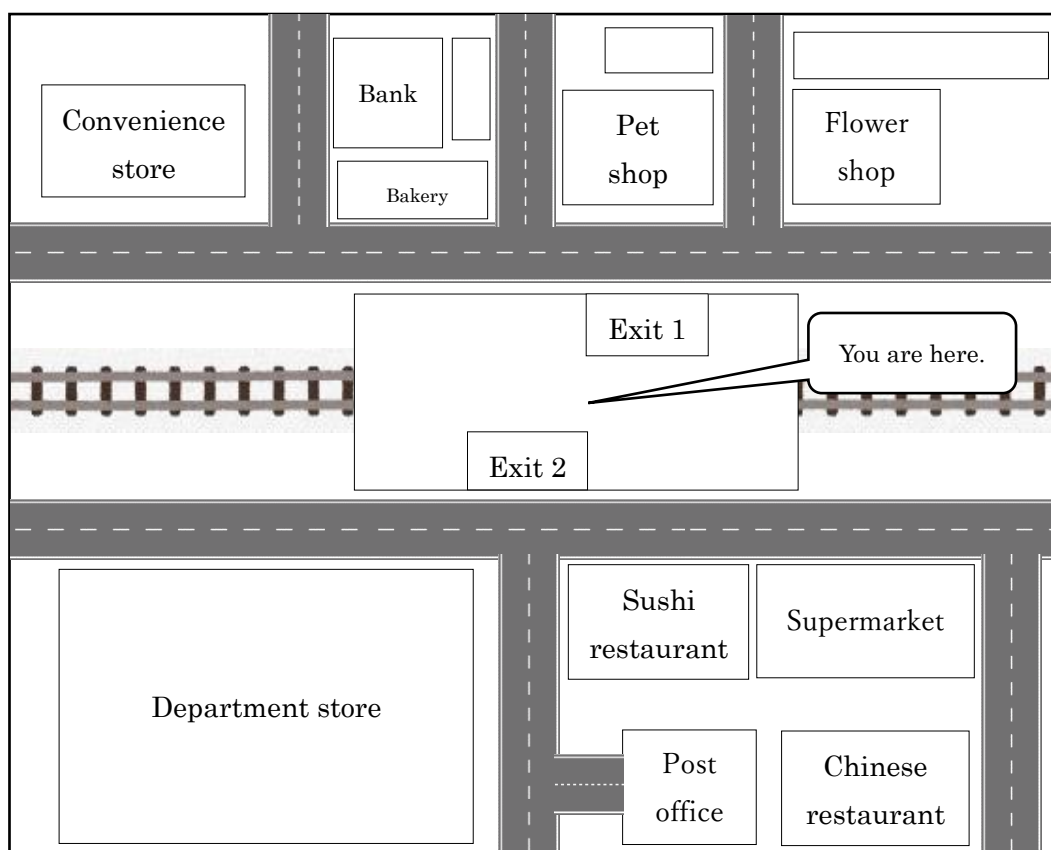
1. CEFR-Jレベル: A2.1
2. 技能: 話すこと[やり取り]
3. Can Do: 「右に曲がって」や「まっすぐ行って」などの基本的な表現を使って、単純な道案内をすることができる。

4. パフォーマンステスト:

(ア) 内容

・指示文

あなたは駅で観光客に道を聞かれます。聞かれた場所(2箇所)までの道順を案内してください。先生は観光客の役をします。地図を見ながら話しても構いませんが、その場に地図はない設定で観光客には見せずに案内します。準備時間は15秒です。



・実施方法

- ① 生徒は一人ずつテストを受ける。
- ② 15秒間準備をさせる。
- ③ 生徒と会話をし、採点の基準に沿って評価を行う。

(イ) 採点の基準

条件:観光客に聞かれた場所(2箇所)までの道順を正しく案内している。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話している。	条件を満たした上で、関連する情報を詳しく話して伝えている。	条件を満たした上で、詳しく話して伝えようとしている。
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて話している。	条件を満たして話して伝え合っている。	条件を満たして話して伝え合おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5. 生徒の発話及び採点の結果の例

【生徒 A】

教師: Excuse me. I want to go shopping at a department store, but I need to go to a bank before that. Can you show me the way?

生徒 A: OK. Take Exit 1. Turn left and go straight. Turn right at the second intersection, and it is on your right.

教師: Thanks. Oh, is there a department store nearby?

生徒 A: Yes! Return to the station after you leave the bank. It's in front of Exit 2, which is very close to the station. You can't miss it.

教師: Thank you very much!

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 A	a	a	a
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※下線部は関連する情報を詳しく話していると判断した根拠の例。		

【生徒 B】

教師: Excuse me. How can I get to a post office?

生徒 B: Yes, yes! Exit 2, Straight. Turn left.

教師: I'd like to eat sushi after I go to the post office. Is there a sushi restaurant near the post office?

生徒 B: Yes, yes! Exit 2, Station front!

教師: Oh! Is it in front of the station?

生徒 B: Yes, yes.

教師: OK. Thank you!

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 B	b	b	b
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

【生徒 C】

教師: Excuse me. I want to go to a bakery. How can I get there?

生徒 C: Go...Here.

教師: Which gate should I leave from?

生徒 C: Exit?

教師: Thanks. How can I get to Chinese restaurant from the bakery?

生徒 C: ...

教師: OK. This is the end of the task.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生	c	c	c
徒	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		
C			

6. 留意点

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、道案内に特有な表現の指導や、それを使ってやり取りする活動を十分に行う。
- 「関連する情報を詳しく話して伝えている」とはどのようなことか、事前に生徒に例示し、指導する。

[モデル動画はこちら](#)



話すこと[やり取り]編 事例 3

1. CEFR-J レベル: A2.2
2. 技能: 話すこと[やり取り]
3. Can Do: 予測できる日常的な状況(郵便局・駅・店など)ならば、さまざまな語や表現を用いてやり取りができる。

4. パフォーマンステスト:

(ア) 内容

・指示文

あなたは旅行でアメリカに来ており、土産物店でお土産を買おうとしています。予算は 30 ドルです。先生が店員の役をします。4 枚のカードの中から 1 枚選び、そのカードの内容に従って店員に説明し、予算内でお土産を買ってください。準備時間は 1 分です。

カード:

- | | |
|--|---|
| ①お土産を渡す相手: 5歳の妹
買いたいもの: ぬいぐるみ(stuffed animal) | ②お土産を渡す相手: 20歳の兄
買いたいもの: ポストカード(post card) |
| ③お土産を渡す相手: 学校の友だち
買いたいもの: Tシャツ(T-shirt) | ④お土産を渡す相手: 母
買いたいもの: お菓子(sweets) |

・実施方法

- ①生徒は一人ずつテストを受ける。
- ②お土産を渡す相手がかかれた 4 枚のカードを裏返しにして、生徒に 1 枚選ばせる。
- ③1 分間準備をさせる。
- ④生徒と会話をし、採点の基準に沿って評価を行う。

(イ)採点の基準

条件1: お土産を渡す相手についてと、買いたいものについて説明している。

条件2: 予算内でお土産を買っている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話している。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え、気持ちを詳しく話して伝えている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え、気持ちを詳しく話して伝えようとしている。
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて話している。	二つの条件を満たして話して伝えている。	二つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5. 生徒の発話及び採点の結果の例 ※ カード①についてやり取りをする場合

【生徒A】

教師: Hello! May I help you?
 生徒A: Hello, I want to buy a stuffed animal for my sister.
 教師: A stuffed animal for your sister! How old is she?
 生徒A: She is five years old. She likes cute animals.
 教師: Good. What kind of animal does she like?
 生徒A: She likes rabbits.
 教師: Okay, then how about this one? The fur is very soft and beautiful.
 生徒A: How much is this?
 教師: It is 50 dollars.
 生徒A: Do you have cheaper one?
 教師: Let's see. How about this? This is also very cute and it costs 30 dollars.
 生徒A: I'll take it. (お金を渡す動作)
 教師: Thank you very much. Have a nice day!
 生徒A: Thank you very much!

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生	a	a	a
徒	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		
A	※下線部は関連する情報や自分の考え、気持ちを詳しく話して伝えていると判断した根拠の例。		

【生徒B】

教師: Hello! May I help you?
 生徒B: I want to buy a stuffed animal.
 教師: Good, what animal do you like?
 生徒B: My sister like stuffed animal.
 教師: Oh, it is for your sister. How old is she?
 生徒B: She is five years.
 教師: Okay, then what about this? This rabbit has a very soft and beautiful fur.
 生徒B: How much?
 教師: It is 50 dollars.
 生徒B: Too expensive.
 教師: Let's see. How about this? This is also very cute and it costs 30 dollars.
 生徒B: OK. (お金を渡す動作)
 教師: Thank you very much. Have a nice day!
 生徒B: Thank you very much!

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 B	b	b	b
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

【生徒 C】

教師: Hello! May I help you?

生徒C: I want to a stuffed animal.

教師: Good, what animal do you like?

生徒C: My sister is cute animals.

教師: Oh, she is? What animal does she like?

生徒C: Rabbit.

教師: Okay, this rabbit is soft and have nice fur.

生徒C: (沈黙)

教師: This rabbit is 50 dollars.

生徒C: (沈黙)

教師: Okay, this ends our task today.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 C	c	c	c
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

6. 留意点

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、買い物に特有な表現の指導や、それを使ってやり取りする活動を十分に行う。
- 「正しい英文で話している」「関連する情報や自分の考え、気持ちを詳しく話して伝えている」とはどのようなことか、事前に生徒に例示し、指導する。



1. CEFR-J レベル: B1.1
2. 技能: 話すこと[やり取り]
3. Can Do: 日常的な話題について、簡単な英語を多様に用いて意見を表明し、情報を交換することができる。

4. パフォーマンステスト

(ア) 内容

・指示文

あなたはイギリスに 3 箇月間交換留学生として滞在することになっており、訪問前に、オンラインで初めてホストブラザーと話すことになりました。先生はホストブラザー役になります。カードを3枚選び、カードに書かれた三つのトピックについてホストブラザーに質問します。また、ホストブラザーからの質問にも答えてください。会話はあなたから始めてください。準備時間は30秒、会話の時間は2分程度です。

カードに書かれたトピック: 天気、趣味、家族構成、学校生活、スポーツ、あなたの故郷の町、
おすすめの場所

・実施方法

- ①生徒は一人ずつテストを受ける。
- ②トピックが書かれた7枚のカードを裏返しにして、生徒に3枚選ばせる。
- ③30秒間準備をさせる。
- ④生徒と90秒間会話をし、採点の基準に沿って評価を行う。

(イ) 採点の基準:

条件1:カードに書かれた三つのトピックについてホストブラザーに質問している。

条件2:ホストブラザーからの質問に答えている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	・語彙や表現が適切に使用されている。 ・語や句、文における強勢や文におけるイントネーションなど英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音している。	二つの条件を満たした上で、トピックを自然に変えながら、関連する情報を詳しく話して伝え合っている。	二つの条件を満たした上で、トピックを自然に変えながら、関連する情報を詳しく話して伝え合おうとしている。
b	・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話している。 ・理解に支障のない程度の発音で話している。	二つの条件を満たして話して伝え合っている。	二つの条件を満たして話して伝え合おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5. 生徒の発話及び採点の結果の例

【生徒 A】

生徒 A: Hi, I'm Yuki. Nice to meet you!

教師: Hi, I'm James. Nice to meet you too! What have you learned about the UK so far?

生徒 A: It's very nice, but sometimes the weather seems to be a bit too cold for me. In Japan, it's not so cold so I prefer Japan's weather. How about you? Do you like the UK weather?

教師: I suppose I'm just used to it. It can be a bit gloomy, but I like it. So, could tell me about your favorite UK food?

生徒 A: I like fish and chips. I'm looking forward to having it there. So anyway, what year are you in?

教師: I'm in Year 13. This is my last year so I'm busy studying for my A-levels. Do you have any hobbies?

生徒 A: Yes, I like to play the piano and watch anime. And I really enjoy cooking, too. I can make many Japanese dishes such as Japanese curry and rolled omelet. I will make them for you! By the way, I want to try fish and chips. Do you have any restaurants you recommend?

教師: I love Sutton and Son's. Let's go together sometime. If you need any other recommendations for places to visit, just let me know.

生徒 A: Thank you! I will ask you for sure.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 A	a	a	a
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※下線部はトピックを自然に変えながら、関連する情報を詳しく話して伝え合っていると判断した根拠の例。		

【生徒 B】

生徒 B: Hi, I'm Yuki. Nice to meet you!

教師: Hi, I'm James. Nice to meet you too! How are you finding the UK so far?

生徒 B: Very nice, but sometimes cold. You like UK weather?

教師: I guess I'm used to it. It can be a bit gloomy, but I like it. So, could you tell me about your favorite UK food?

生徒 B: My favorite UK food... fish, potatoes? Next, I want to know what year are you?

教師: I'm in Year 13. This is my last year so I'm busy studying for my A-levels. Do you have any hobbies?

生徒 B: Yes, I like... play piano and read manga. I like eat fish and chips. Where you recommend ?

教師: I love Sutton and Son's. Let's go together some time. If you need any recommendations for other places to visit, just let me know.

生徒 B: OK. Thank you!

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 B	b	b	b
「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。			

【生徒 C】

生徒 C: Hi, I'm Yuki. Nice to meet you!

教師: Hi, I'm James. Nice to meet you too! How are you finding the UK so far?

生徒 C: UK is great... How do you UK?

教師: Sorry?

生徒 C: How... UK... weather? How... like... UK weather?

教師: Do you mean, "How do I like UK weather?"

生徒 C: Yes. Yes.

教師: Well, I guess I'm used to it. It can be a bit gloomy, but I like it. So, could you tell me about your favorite UK food?

生徒 C: Food? UK?

教師: Do you have any UK food?

生徒 C: I like...(沈黙が続く) Now... what year?

教師: It's 2024.

生徒 C: Ah 違う... school year. You.

教師: Oh, okay. I'm in Year 13. This is my last year so I'm busy studying for my A-levels. Do you have any hobbies?

生徒 C: Hobbies... are... many many. Piano hobby. Manga hobby. Cook hobby.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 C	c	c	c
「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。			

6. 留意点

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、話す内容(イギリスの生活)に関する知識を増やすことができるよう指導し、日常的な話題についてやり取りする活動を十分に行う。

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、会話に役立つ表現（フィラー、話題を変える時の表現、相づちを打つ時の表現、相手の言ったことを理解できなかった時の表現など）の指導や、それらを使って日常的な話題についてやり取りする活動を十分に行う。
- 「トピックを自然に変えながら、関連する情報を詳しく話して伝え合っている」とはどのようなことか、事前に生徒に例示し、指導する。

[モデル動画はこちら](#)



1. CEFR-J レベル: B1.2
2. 技能: 話すこと[やり取り]
3. Can Do: 店などの公共の場所で、請求金額の誤りなどの問題を、自信を持って丁寧に詳しく説明し、正しいサービスを受けることができる。

4. パフォーマンステスト

(ア) 内容

・指示文

あなたは海外を旅行中で、レストランで食事をし、Rice Ball と Green Tea の支払いを済ませ、店を出てしばらくたったところです。受け取ったレシートを見て、間違った金額を請求され、支払ってしまったことに気がきました。店に戻り、店員に以下を説明し、正しい金額に訂正するよう要求し、返金してもらいましょう。また、正しいレシートをもらいましょう。先生は店員役になります。準備時間は30秒、話す時間は1分程度です。

説明すること:

1. Rice Ball (\$9) と Green Tea (\$3) の支払いで、\$12 を請求され支払った。
2. Rice Ball と Green Tea のセットの金額は\$10である。
3. あなたには学生割引の20%オフが適用され、正しい金額は\$8である。

・実施方法

- ①生徒は一人ずつテストを受ける。
- ②30秒間準備をさせる。
- ③生徒と会話をし、採点の基準に沿って評価を行う。

(イ) 採点の基準

条件1: 正しい金額に訂正するよう要求し、返金されている。

条件2: 正しいレシートを受け取っている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙や表現が適切に使用されている。 ・語や句、文における強勢や文におけるイントネーションなど英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音している。 	関連する情報を丁寧に詳しく話して伝えながら、二つの条件を満たしている。	関連する情報を丁寧に詳しく話して伝えながら、二つの条件を満たそうとしている。

b	・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話している。 ・理解に支障のない程度の発音で話している。	二つの条件を満たして話して伝えている。	二つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5. 生徒の発話及び採点の結果の例

【生徒 A】

生徒 A: Hello again! Well, I came here a while ago, and ordered a “Rice Ball” and a “Green Tea”. I thought that if I ordered them as a set, it would be \$10 in total but I paid the regular price of \$12.

教師: I see. Let me check the receipt. Ah, yes, I see the mistake. I apologize for the error.

生徒 A: No problem. Also, I am a student, so I believe I should be eligible for a 20% discount, right?

教師: Yes, that's correct. We do offer a 20% discount for students.

生徒 A: Thank you for confirming. Can you please correct the bill to reflect the correct amount and apply the student discount?

教師: Certainly, I will make the necessary adjustments to the bill. Is there anything else I can assist you with?

生徒 A: I have one more question. Could I have a revised receipt?

教師: Of course, I will provide you with a new one. Here you are!

生徒 A: Thank you very much.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 A	a	a	a
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※下線部は関連する情報を丁寧に詳しく話して伝えていると判断した根拠の例。		

【生徒 B】

生徒 B: Hello again! Ah... I came here to eat “Rice Ball” and Green Tea”. I paid \$12. Is it a mistake?

教師: I see. Let me check the receipt. Ah, yes, I see the mistake. I apologize for the error.

生徒 B: No problem. And... I am a student. Please discount. Give money!

教師: Yes, that's correct. We do offer a 20% discount for students.

生徒 B: Thank you. Can you change the bill?

教師: Certainly, I will make the necessary adjustments to the bill. Is there anything else I can assist you with?

生徒 B: Yes. Can I get a correct receipt? This one is bad!

教師: Of course, I will provide you with a new receipt once everything is corrected. Thank you for bringing this to my attention.

生徒 B: Thank you!

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 B	b	b	b
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

【生徒 C】

生徒 C: I am “Rice Ball” and “Green Tea”... woo... mistake!!!

教師: I see. Let me check the receipt. Ah, yes, I see the mistake. I apologize for the error.

生徒 C: I’m a student!

教師: Oh, in this case, we offer a 20% discount for students.

生徒 C: Yes.

教師: Certainly, I will make the necessary adjustments to the bill. Is there anything else I can assist you with?

生徒 C: No.

教師: I see. Thank you.

生徒 C: Thank you!

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 C	c	c	c
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

6. 留意点

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、交渉するための表現の指導や、それらを使ってやり取りする活動を十分に行う。
- 「語彙や表現が適切に使用されている」「語や句、文における強勢や文におけるイントネーションなど英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音している」「関連する情報を丁寧に詳しく話して伝えている」とはどういうことか、事前に生徒に例示し、指導する。



1. CEFR-J レベル: B2.1
2. 技能: 話すこと[やり取り]
3. Can Do: 学んだことや自分の興味や関心のある話題なら、抽象的なテーマであっても、議論することができる。

4. パフォーマンステスト

(ア) 内容

・指示文

次のトピックについて、二人で自由に会話をしなさい。準備時間は1分で、話す時間は3分です。

Is it effective to use psychological techniques to get your way in business and/or in love?

・実施方法

- ①指示文を配付し、ペアに分け、各ペアにデジタル端末を用意する。
- ②3分間会話をさせ、各自録画する。
- ③録画したものを視聴して、採点の基準に沿って評価を行う。

(イ) 採点の基準

条件1:根拠や具体例などとともに自分の考えや気持ちを適切に伝えている。

条件2:相手の発話に対して声のあいづち、感想、質問などを行っている。

	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【思考・判断・表現】
	正確さ	内容	相手の発話への働きかけ
a	・語彙や表現が適切に使用されている。 ・語や句、文における強勢やイントネーションなど英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音している。	条件1を満たした上で、根拠や具体例などを詳しく述べている。	条件2を満たした上で、様々な表現を用いて自然に反応したり、会話を発展させる質問をしたりしている。
b	・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話している。 ・理解に支障のない程度の発音で話している。	条件1を満たして話して伝え合っている。	条件2を満たして話して伝え合っている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5. 生徒の発話及び採点の結果の例 ※文法的な誤りを一部含む。

【生徒 A と生徒 B のペア】

生徒 A: Hey, so what do you think about using psychological techniques in business or in love?

生徒 B: First, let's talk about in business. I think using psychological techniques in business is effective.

生徒 A: Why?

生徒 B: Because in business, profit is the most important thing.

生徒 A: I see your point. And I agree with you. Because in business, money is more important than ethics.

生徒 B: I see By the way, what do you think about using psychological techniques in love?

生徒 A: I think using psychological techniques in love is only acceptable to make a good first impression.

生徒 B: Ah, why?

生徒 A: I think when we meet someone for the first time, it's normal to have a strategy to start a good relationship. But after that, we should build trust by having a real conversation.

生徒 B: I understand your point, but I don't think it's acceptable to use psychological techniques in love, even for a first impression.

生徒 A: Why?

生徒 B: Because using psychological techniques in a relationship is manipulating your partner. I think that is terrible. You cannot get true love that way.

生徒 A: I think it makes sense. You say that using psychological techniques in love can be cheating. I understand your idea. But, if it's only for the first impression, I think it is okay, and also it's efficient to start a relationship quickly. It is not to control others but to build a good relationship. Therefore, I think in business it is effective to use psychological techniques, but, in love, you should only use them for the first impression.

生徒 B: I see. Yeah. Thank you for having this discussion with me.

生徒 A: Yeah, you too.

	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【思考・判断・表現】
	正確さ	内容	相手の発話への働きかけ
	a	a	a
生徒 A	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※ <u>下線部</u> は根拠や具体例などを詳しく述べていると判断した根拠の例。 ※ <u>二重下線部</u> は様々な表現を用いて自然に反応したり、会話を発展させる質問をしたりしていると判断した根拠の例。		

	a	a	a
生徒 B	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※ <u>波線部</u> は根拠や具体例などを詳しく述べていると判断した根拠の例。 ※ <u>破線部</u> は様々な表現を用いて自然に反応したり、会話を発展させる質問をしたりしていると判断した根拠の例。		

【生徒 C と生徒 D のペア】

生徒 C: Do you think it is effective to use psychological techniques to get your way in love and/or in business?

生徒 D: I think in business it is good way to make more benefit. For example, using decoy is good way because textbook example shows the company could get more benefit by using decoy. How about you?

生徒 C: I also think psychological techniques are useful in business. Decoy is good. By using decoy, company can improve sales performance.

生徒 D: I think, then, in love, what do you think?

生徒 C: I don't think it is effective.

生徒 D: A-ha, a-ha, a-ha. Why do you think so?

生徒 C: Eh, I think delaying reply is a bad idea.

生徒 D: I know. I will forget to reply if I try this technique. You say using this technique is not good because?

生徒 C: I will forget too.

生徒 D: I see. If someone try that to me, I will get confused. I think it is dangerous to use such method in love. Because using psychological technique too much in love sounds like lying or cheating or deceiving. Can you think of any psychological techniques that will work in love?

生徒 C: I don't think... it's not effective. What do you think?

生徒 D: Some people say that mirroring is effective when used in a proper way. For example, eh, they say mirroring is an effective technique when we use it naturally.

	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【思考・判断・表現】
	正確さ	内容	相手の発話への働きかけ
生徒 C	b	b	b
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		
生徒 D	a	a	a
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※ <u>下線部</u> は根拠や具体例などを詳しく述べていると判断した根拠の例。 ※ <u>二重下線部</u> は様々な表現を用いて自然に反応したり、会話を発展させる質問をしたりしていると判断した根拠の例。		

【生徒 E と生徒 F のペア】

生徒 E: Do you think it is effective to use psychological techniques to get your way in love or in business?

生徒 F: Eh, I think is a good idea to use psychological techniques in love. Because we... (沈黙) use psychological techniques is... not fake love.

生徒 E: Why do you think so?

生徒 F: Why? Because I love anyone, ah, very true. ... (沈黙)

生徒 E: I think it is not a good idea. Using psychological techniques can't build love. Because be honest is more important. How do you think about my opinion?

生徒 F: Um. ... (沈黙)

生徒 E: For example, do you think mirroring is effective in love?

生徒 F: Mirroring is... (沈黙), so, to... (沈黙)

生徒 E: Have you ever tried it?

生徒 F: I have never used it but I want to use mirroring.

生徒 E: Do you want to know whether it's effective or not?

生徒 F: Yes. I want to know it's effective or not.

生徒 E: I think mirroring is dangerous. What will happen if someone notices you are mirroring your partner's reactions?

生徒 F: Um. ... (沈黙)

	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【思考・判断・表現】
	正確さ	内容	相手の発話への働きかけ
生徒 E	b	b	a
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		
	※ <u>下線部</u> は内容を深める質問をしていると判断した根拠の例。		
生徒 F	c	c	c
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

6. 留意点

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、ディスカッションの表現の指導や、それらを使ってやり取りする活動を十分に行う。
- 「聞き手に分かりやすい発音で話している」「根拠や具体例などを詳しく述べている」「様々な表現を用いて自然に反応したり、会話を発展させる質問をしたりしている」とはどういうことか、事前に生徒に例示し、指導する。

※単元: 啓林館『Element English Communication II』 Lesson 5 How Our Minds Work

本事例は令和6年度教育課程推進委員(外国語)の実践研究における「話すこと[やり取り]」の単元の指導計画に基づいて作成されました。「令和6年度高等学校教育課程研究会研究報告第4集」は神奈川県立総合教育センターのホームページに掲載されています。

https://www.pen-kanagawa.ed.jp/edu-ctr/kenkyu/kyoiku_katei.html

[モデル動画はこちら](#)



中学校・高等学校英語教員のための評価事例集
話すこと〔発表〕編



SPEAKING [PRESENTATION] COMPILATION

話すこと[発表]編 事例Ⅰ

1. CEFR-Jレベル: A1.3
2. 技能: 話すこと[発表]
3. Can Do: 前もって発話することを用意した上で、日常的な話題について、基礎的な語句や構文を用い、複数の文で説明できる。

4. パフォーマンステスト

(ア) 内容

・指示文

あなたの学校は、オーストラリアにある姉妹校と毎年オンライン交流会を行っていて、あなたは自校の学校行事を紹介することになりました。学校行事を一つ選び、それがどのような行事なのか説明してください。準備時間は2分、話す時間は1分です。

・実施方法

- ① デジタル端末を用意し、各自が自分の発表を録画する。
- ② 録画したものを視聴して、採点の基準に沿って評価を行う。

(イ) 採点の基準

条件: 学校行事を一つ選び、それがどのような行事なのか、説明している。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話している。	条件を満たした上で、関連する情報を詳しく述べて伝えている。	条件を満たした上で、関連する情報を詳しく述べて伝えようとしている。
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて話している。	条件を満たして話して伝えている。	条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5. 生徒の発話及び採点の結果の例

【生徒 A: 文化祭について】

I'm going to talk about our amazing school festival! It's one of the most popular events in our school. We do many things. The dance team performs a great dance show. The band plays all of your favorite songs. The drama club performs an inspiring English play. We always look forward to seeing their excellent stage performances every year.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 A	a	a	a
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※ <u>下線部</u> は、特徴を詳しく述べていると判断した根拠の例。		

【生徒 B:合唱コンクールについて】

I am going to tell you chorus contest. It is very popular event. Each class sing different song. We sing “*Tsubasa wo Kudasai.*” We practice hard because we want to win the first prize!

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生	b	b	b
徒 B	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

【生徒 C:体育祭について】

I like *Taiiku-sai*. I like sports. I play *Tsunahiki* and *Tamaire*. I am *Rire no Senshu*. My team number one! And everyone dance. I like dance!

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生	c	c	c
徒 C	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

6. 留意点

- 日本の学校行事について背景知識を持たない姉妹校の生徒に、自校の学校行事を紹介するという状況のタスクである。このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、日常的な話題について詳しく話すための表現や、概要から具体へなど、相手に伝わりやすい説明方法の指導や、それらを使って発表する活動を十分に行う。
- 「誤りのない正しい英文で話している」「関連する情報を詳しく述べて伝えている」とはどのようなことか、事前に生徒に例示し、指導する。



話すこと[発表]編 事例 2

1. CEFR-J レベル: A2.1
 2. 技能: 話すこと[発表]
 3. CAN-DO: グラフやスライドなどの視覚的補助を利用しながら、簡単な語句や文を使って、自分が学んだトピックについて短い話をするができる。

4. パフォーマンステスト

(ア) 内容

・指示文

あなたは他2名の学生と共に、市が主催する国際交流イベントで、若者が幸福を感じる要因について発表することになりました。まずは、自分たちが考える要因を三つ挙げ、日本の若者20人以上に3択のアンケート調査を実施しなさい。次に、自分たちの考えを原稿にまとめ、調査結果等を示すスライドを作成しなさい。イベントで話す時間は1分です。3名全員で発表しなさい。

・実施方法(4時間で実施)

1 時間目	指示文配付、グループ分け(3人ずつ)、3択アンケート調査作成、クラスメートに対して調査実施
2 時間目	発表原稿とスライドの作成
3 時間目	発表リハーサル及び教員による助言、指導
4 時間目	パフォーマンステスト クラス全体の前でグループごとに発表させ、採点の基準に沿ってその場で評価を行う。

(イ) 採点の基準

○グループ評価

条件1:自分たちが考える要因を三つ挙げている。

条件2:日本の若者20人以上に実施した3択のアンケート調査の結果を述べている。

条件3:論理的な構成で伝えている。

○個別評価

条件1:自分の言葉で話して伝えている。

条件2:スライドによる視覚情報を活用しながら話して伝えている。

	グループ評価	個別評価		
	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	三つの条件を全て満たした上で、表現を工夫し、情報が多く、説得力がある。	語や句、文における強勢や文におけるイントネーションなど英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音している。	聴衆と視線を合わせながら、二つの条件を満たして話して伝えている。	聴衆と視線を合わせながら、二つの条件を満たして話して伝えようとしている。
b	三つの条件を全て満たしている。	理解に支障のない程度の発音で話している。	二つの条件を満たして話して伝えている。	二つの条件を満たして話して伝えようとしている。

c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。
---	--------------	--------------	--------------	--------------

5. 生徒の発話及び採点の結果の例

【グループ1・生徒 A】

Hello, everyone, my name is [Name]. I am the first presenter in our group. Today, we would like to give a presentation about happiness for Japanese high school students. Our group chose three key points for happiness and did a survey in our high school. We thought that having money was the most important thing for happiness. The others were having many friends and being healthy. Last week, we asked twenty of our classmates which of the three was the most important for their happiness.

【グループ1・生徒 B】

Hello, my name is [Name]. I am the second presenter, and I will present the results of our survey. Please look at this pie chart. 60% of the students said that having many friends is the most important thing. 25% chose being healthy, and 15% chose having money as the most important.

【グループ1・生徒 C】

Hello, my name is [Name]. I am the last presenter, and I will present our group's conclusion. At first, we thought that having money was the most important thing for happiness, but according to the survey, having many friends is the most important thing in our school. In conclusion, Japanese high school students value friendship more than money or health. Thank you for listening.

	グループ評価	個別評価		
	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 A	a	a	a	a
生徒 B	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※下線部は表現を工夫し、情報が多く、説得力があると判断した根拠の例。	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		
生徒 C		a	a	a
		「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

【グループ2・生徒 D】

Hello everyone, I'm the first presenter, [Name]. (えーっと...) Today, we would like to give a presentation about happiness for Japanese high school students. Our group

thinks that “having a girlfriend or boyfriend” is the most important thing to happiness. We made a questionnaire that had three choices about happiness and it included “having a girlfriend or boyfriend,” “hobbies and club activities,” and “a part-time job.”

【グループ2・生徒 E】

Hello everyone, I’m the second presenter, [Name]. I will present the result of our survey. The largest number of students chose “hobbies and club activities” as the key point for their happiness. It was 50%. “Having a girlfriend or boyfriend” and “having a part-time jobs” was in the second place and the percent of both was same. It was 25%.

【グループ2・生徒 F】

Hello everyone, I’m the final presenter. I will be presenting our group’s conclusion. Japanese high school students value “hobbies and club activities” more than “having a girlfriend or boyfriend” and “a part-time job” when it comes to happiness. That’s all, thank you.

	グループ評価	個別評価		
	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 D	b	c	b	b
生徒 E	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※日本語のカタカナ発音に近い発音で話した。 ※1文ごとに原稿に目が行っていた。		
		a	a	a
		「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※抑揚があり、英語らしい発音で話した。 ※聴衆と視線を合わせ、スライドを指しながら話していた。		
生徒 F	b	b	b	b
		「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

【グループ3・生徒 G】

Hello everyone. My name is [Name]. Today, we would give a presentation about happiness for us. Our group things all equally important for happiness. We planned to do a survey that had three key points for happiness. We added “learning” in the three.

【グループ3・生徒 H】

Hello everyone, my name is [Name]. I am the second presenter and I will be presenting results of our survey. Please look at this pie chart. The largest number of students chose “having many money” as the key to their happiness. It was 56%. “Being healthy” and “learning” the same percentage.

【グループ3・生徒 I】

Hello everyone, my name is [Name]. I'm the third presenter and I will be presenting our conclusion. While we initially expected "having many friends" was the most important thing to happiness, our survey showed surprisingly that the large number of "having many money". In conclusion, Japanese high school students put wealth ahead of health and friendship when it comes to happiness. Thank you for listening.

	グループ評価	個別評価		
	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 G	c	b	b	b
生徒 H	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※ <u>二重下線部</u> は、条件3を満たしていない	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		
生徒 I	と判断した根拠の例。	a	a	a
		「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※語や句、文における強勢やイントネーションが適切で、英語らしい発音で話した。 ※原稿はほとんど見ずに、聴衆と視線を合わせて話した。		

6. 留意点

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、効果的な発表の手法や、データを示すための表現などの指導と、それらを使って発表する活動を十分に行う。
- 「語や句、文における強勢や文におけるイントネーションなど英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音している」「表現を工夫し、情報が多く、説得力がある」とはどのようなことか、事前に生徒に例示し、指導する。

※ 単元：数研出版 『BIG DIPPER English Communication I』 Lesson 6 What Is Happiness



1. CEFR-Jレベル: A2.2
2. 技能: 話すこと[発表]
3. CAN-DO: 簡単な語句や文を使って、日常的な話題についての意見や行動計画を、理由を挙げて短く述べるができる。

4. パフォーマンステスト

(ア) 内容

・指示文

あなたは、学校で英語クラブに入っています。このクラブでは、月に一回校外で活動するクラブイベントの日があり、今日はみんなで、次回何をするか話し合います。リーダーから次のような問いかけがありました。あなたはどうか答えますか？準備時間は2分、話す時間は1分です。

“What should we do for our next club event? We have three choices. A day trip to Kamakura, a barbecue in the park, or a movie at my house. Choose one of the three activities and explain why you think it’s a good idea.”

・実施方法

- ① デジタル端末を用意し、各自が自分の発表を録画する。
- ② 録画したものを視聴して、採点の基準に沿って評価を行う。

(イ) 採点の基準

条件: 自分の意見を理由とともに述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	・誤りのない正しい英文で話している。 ・理解しやすい音声等で話している。	条件を満たした上で、具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら話して伝えている。	条件を満たした上で、具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら話して伝えようとしている。
b	・誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて話している。 ・理解に支障のない程度の音声等で話している。	条件を満たして話して伝えている。	条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5. 生徒の発話及び採点の結果の例

【生徒 A】

I want to go to Kamakura because we can visit many places together. When we go to a place together, we can talk a lot. When we see a movie, we can't talk a lot.

I think it is important that we can become friends because we... we don't know each other very well yet. In Kamakura, we can also learn about the history of Japan by going to old temples and shrines. I think Kamakura is the best for the next club event.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 A	a	a	a
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※下線部は、具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら話して伝えていると判断した根拠の例。		

【生徒 B】

I want to have barbecue party... because it is... delicious. I want to eat together... meat. Meat is delicious. For club event, barbecue party is good... because it is fun... to eat together... with friend. Also, you learn about other members. Members will bring different food and cook different at the barbeque party.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 B	b	b	b
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

【生徒 C】

I... I want to movie. My friend like movie too. We want to movie together... in English... to study English. We are English club, so we want to English movie.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 C	c	c	c
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

6. 留意点

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、意見を理由とともに述べる表現などの指導と、それらを使って発表する活動を十分に行う。
- 「誤りのない正しい英文で話している」「具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら話して伝えている」とはどういうことか、事前に生徒に例示し、指導する。



1. CEFR-J レベル: B1.2
2. 技能: 話すこと[発表]
3. CAN-DO: 短い説明文であれば、ある程度の流暢さをもって、自分の感想や考えを加えながら、要点を伝えることができる。

4. パフォーマンステスト

(ア) 内容

・指示文

あなたは国際交流イベントに参加しています。このイベントでは、様々な国から来日している留学生と、グループごとに決められたテーマでディスカッションを行います。あなたのグループのテーマはAIです。あなたは今、10分後に始まるディスカッションの準備をしていて、ネットで次の記事を見つけました。ディスカッションで記事の要点と自分の意見を1分半で話しましょう。メモを用意して、必要に応じて参照しながら話しても構いません。ただし、記事を見ながら話すことはできません。

Can AI make the world better? Some people say yes, as it makes life easier. It's in our daily routines, like telling us the quickest path while driving or reminding us to drink water. But, others worry it can make us dependent. People use navigation apps constantly, harming thinking skills. AI has pros and cons.

・実施方法

- ①指示文を配付し、10分間の準備時間を与える。
- ②指示文を回収する。各自がデジタル端末で自分の発表を同時に録画する。
- ③提出されたデータ視聴して、採点の基準に沿って評価を行う。

(イ) 採点の基準

条件1:記事の要点を伝えている。

条件2:自分の意見を理由とともに述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙や表現が適切に使用されている。 ・語や句、文における強勢や文におけるイントネーションなど英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音している。 	二つの条件を満たした上で、具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら話して伝えている。	二つの条件を満たした上で、具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら話して伝えようとしている。

b	・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話している。 ・理解に支障のない程度の発音で話している。	二つの条件を満たして話して伝えている。	二つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5. 生徒の発話及び採点の結果の例

【生徒 A】

I would like to discuss an interesting news article about the pros and cons of AI. It says that some people think AI is good because it makes life easier in many ways. For example, it shows us the fastest route when driving or reminds us to drink water through smartwatches. These smart tools help us with daily tasks. However, some people worry that if we use AI too much, we might come to rely on it too much. For instance, if we always use navigation apps, even when we know the way, we might stop thinking for ourselves. So while AI is helpful, it also has some negative effects. I agree more with the negative side because AI can cause a lot of problems. For example, if robots with AI are used to do a lot of work, like in a factory, some people might lose their jobs because the robots are doing the work instead. This can make it difficult for these people to find new jobs and support their families, and even cause economic problems such as rising unemployment. So I don't think AI will make the world a better place.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 A	a	a	a
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※ <u>下線部</u> は、具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら話して伝えていると判断した根拠の例。		

【生徒 B】

AI can help us, but it can also cause problems. AI makes life more... easier. For example, it shows fastest way to drive somewhere or reminds us drink water using a smartwatch. But some people worry that if we use AI too much, it could makes us lazy. For example, if we always use map apps, we might forget how to find places by ourself...? I think... AI is good because... robots with AI can help people in everyday life. For example, a smart vacuum cleaner. I think it's helpful.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 B	b	b	b
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

【生徒 C】

AI is good, but... but some people say... not good. I think AI is good... because... it is... convenience. It is very good for us.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 C	C	C	C
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

6. 留意点

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、意見を理由とともに述べる表現の指導や、新聞記事などを要約する練習と、それらを使って発表する活動を十分に行う。
- 「語や句、文における強勢や文におけるイントネーションなど英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音している」「具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら話して伝え」とはどのようなことか、事前に生徒に例示し、指導する。



1. CEFR-J レベル: B2.1
2. 技能: 話すこと[発表]
3. CAN-DO: 社会的な話題について、賛成・反対の意見を理由や代替案とともに述べるプレゼンテーションを、事前に用意した上で、聴衆の前で流暢に行うことができ、質問にもある程度流暢に対応できる。

4. パフォーマンステスト

(ア) 内容

・指示文

盗まれた美術品についての説明文(教科書の本文)を読み、モアイ像をラパ・ヌイ族に返すべきか、大英博物館に残すべきか、どちらの立場を支持するか選んでください。

あなたは、一週間後に行われる国際討論会において、ラパ・ヌイ族の代表又は、大英博物館の代表の立場で、自分の主張を理由とともに述べるプレゼンテーションを行います。また、プレゼンテーション後には聴衆からの二つの質問に答えます。プレゼンテーションの時間は2分、質疑応答の時間は1分です。

準備期間は一週間です。当日は、用意した原稿やメモを参照しながら話しても構いません。

・実施方法

- ①指示文を実施日の一週間前に配付し、準備期間を与える。
- ②当日、4人程度のグループに分け、各グループにデジタル端末を用意する。
- ③「プレゼンテーション→質疑応答」の流れでグループごとに進め、録画する。
- ④録画したものを視聴して、採点の基準に沿って評価を行う。

(イ) 採点の基準

条件1:プレゼンテーションで、立場を明確にして、その理由を二つ以上挙げている。

条件2:プレゼンテーションで、信頼できる根拠を挙げて考えを述べている。

条件3:プレゼンテーションで、論理の構成や展開を工夫している。

条件4:プレゼンテーションの後、聴衆からの二つの質問に答えている。

	【知識・技能】 言語使用	【思考・判断・表現】 プレゼンテーションの内容	【思考・判断・表現】 質疑応答の内容	【主体的に学習に取り 組む態度】
α	・語彙や表現が適切に使用されている。 ・語や句、文における強勢や文におけるイントネーションなど英語の音声の特徴をと	・条件1～3を全て満たした上で、詳細な説明と複数の根拠によって主張を支え、論点をスムーズ	条件4を満たした上で、十分な説明と根拠を示している。	・条件1～3を全て満たした上で、詳細な説明と複数の根拠によって主張を支え、論点をスムーズに切り

a	<p>らえ、正しく発音している。</p>	<p>に切り替えながら話して伝えている。</p> <p>・自信を持って明瞭な発音で話しており、アイコンタクト、声の調子などによって聴衆の関心を引き付けている。</p>		<p>替えながら話して伝えようとしている。</p> <p>・自信を持って明瞭な発音で話しており、アイコンタクト、声の調子などによって聴衆の関心を引き付けようとしている。</p>
b	<p>・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話している。</p> <p>・理解に支障のない程度の発音で話している。</p>	<p>・条件1～3を全て満たして話して伝えている。</p>	<p>条件4を満たして話して伝えている。</p>	<p>条件1～3を全て満たして話して伝えようとしている。</p>
c	<p>「b」を満たしていない。</p>	<p>「b」を満たしていない。</p>	<p>「b」を満たしていない。</p>	<p>「b」を満たしていない。</p>

5. 生徒の発話及び採点の結果の例

【生徒 A (大英博物館の代表)】

Good afternoon.

We believe keeping the Moai statues in our museum allows more people to see and learn about them. If we return these statues to Easter Island, it will greatly decrease the number of people who can appreciate it. Easter Island is remote and difficult to access, with only about 100,000 tourists visiting last year. In contrast, the British Museum welcomed 5.8 million visitors.

We take great care of our cultural treasures using advanced technology, art, and archaeological experts. Our museum provides the best security and environmental conditions to protect these treasures. On the other hand, Easter Island lacks the resources and conditions to safeguard the statues, which are already at risk due to climate change. The Mayor of Easter Island himself expressed concern about erosion.

We at the British Museum can protect and preserve these statues, allowing millions to appreciate it. We are open to collaborating with the Rapa Nui community for special exhibits on Easter Island. Thank you.

質問1: You mentioned that the British Museum has better resources for preservation. Could you explain a bit more about the specific technologies and methods used?

解答1: Of course. Thank you for your question. At the British Museum, we use high-tech temperature control systems and air cleaners to keep the artwork in the best conditions. We also have experts who regularly clean and repair any damages to our cultural treasures by using chemicals and lasers.

質問2: Are there any examples of artifacts that have been returned to their countries of origin and what were the outcomes?

解答2: Yes, in 2023, Germany returned bronze statues called the Benin Bronzes to Nigeria. However, the Nigerian president gave these statues to the Royal Family, and the king kept them in his private museum. So, no one can see these statues anymore. If Germany didn't return them, people all over the world could still see them today.

	【知識・技能】 言語使用	【思考・判断・表現】 プレゼンテーションの内容	【思考・判断・表現】 質疑応答の内容	【主体的に学習に取り 組む態度】
	a	a	a	a
生徒A	<p>「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。</p> <p>※<u>下線部</u>は、詳細な説明と複数の根拠によって主張を支え、論点をスムーズに切り替えながら話して伝えていると判断した根拠の例。</p> <p>※<u>二重下線部</u>は、十分な説明と根拠を示していると判断した根拠の例。</p>			

【生徒 B(大英博物館の代表)】

Hi everyone.

Moai statues are very important to Rapa Nui people, but we should keep them in the British Museum. If we send Hoa Hakananai'a back to Easter Island, not many people will go to see it. It's hard to get there. So, it should be in the British Museum.

We believe it is dangerous to return Hoa Hakananai'a to Easter Island because the island does not have advanced technology and experts to protect the statue that we have, and weather there is getting worse because of the climate change. Mayor of Easter Island said statues are being damaged and might disappear in 100 years if nothing is done.

We can work with the Rapa Nui community and lend the statue for special exhibits. Our museum helps people understand and appreciate the world's history and culture. Thank you.

質問1: You mentioned that Easter Island does not have technologies and experts to protect the statue. Could you explain what technologies you can offer at the British Museum to protect the statue?

解答1: We use advanced technology like... X-ray and chemicals, to protect our artworks.

質問2: Are there any other examples of artifacts that have been returned to their countries of origin? What were the outcomes?

解答2: Germany returned bronze statues to Nigeria but Nigerian people couldn't see it because... it was in a private museum.

	【知識・技能】 言語使用	【思考・判断・表現】 プレゼンテーションの内容	【思考・判断・表現】 質疑応答の内容	【主体的に学習に取り 組む態度】
生	b	b	b	b
徒 B	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。			

【生徒 C (大英博物館の代表)】

Hi everyone.

We think it's better to keep the statue in British Museum. First reason... many people come to the British Museum but not many people come to Easter Island. So, British Museum is better.

Second, in British Museum, we take care of the Moai statue. On Easter Island, they do not take care the statue. If it go there, it become destroyed.

We want protect the statues for our future. Best way is to keep Hoa Hakananai'a in British Museum where it will be safe and more people can see it.

We can loan the statue to Rapa Nui people in future for special exhibits. But, we should keep the statue in British Museum. Thank you.

質問1: You mentioned that the British Museum takes care of your art. Could you explain a bit more about this?

解答1: Yes... British Museum takes care Moai Statue by using high technology.

質問2: Are there any other examples of artifacts that have been returned to their countries of origin? What were the outcomes?

解答2: Sorry, I don't know about that.

	【知識・技能】 言語使用	【思考・判断・表現】 プレゼンテーションの内容	【思考・判断・表現】 質疑応答の内容	【主体的に学習に取り 組む態度】
生	b	c	c	c
徒 C	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※ <u>下線部</u> は、条件2を満たしていないと判断した根拠の例。			

6. 留意点

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、意見を理由とともに述べる表現の指導やそれらを使って発表する活動、聞いたことに対して質問したり答えたりする練習を十分に行う。

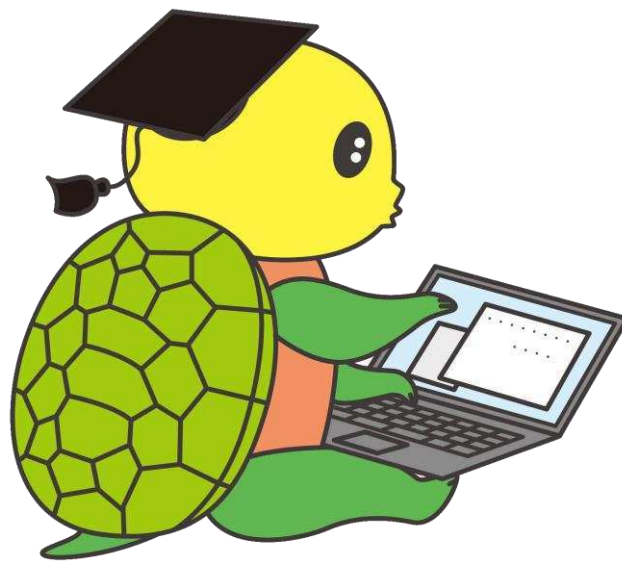
- 「語や句、文における強勢や文におけるイントネーションなど英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音している」「詳細な説明と複数の根拠によって主張を支え、論点をスムーズに切り替えながら話して伝えている」「自信を持って明瞭な発音で話しており、アイコンタクト、声の調子などによって聴衆の関心を引き付けている」とはどのようなことか、事前に生徒に例示し、指導する。

※ 単元：三省堂『CROWN English Communication I』 Lesson 9 Our Lost Friend

[モデル動画はこちら](#)



中学校・高等学校英語教員のための評価事例集
書くこと編



WRITING COMPILATION

書くこと編 事例Ⅰ

1. CEFR-Jレベル: A1.3
2. 技能: 書くこと
3. Can Do: 自分の経験について、語彙リストなどの支援があれば、短い文章を書くことができる。

4. パフォーマンステスト

(ア) 内容

先週、あなたの通う学校で、文化祭が行われました。文化祭で自分がしたことと感想について、友達のTomにSMSでメッセージを送ります。必要に応じて<語彙リスト>を参考にしてください。書く時間は5分です。

Hi, Tom. _____

<語彙リスト>

縁日 fair お化け屋敷 haunted house 迷路 maze クイズ大会 quiz competition
 劇 drama 合唱 chorus フォトスポット photo spot 休憩所 rest area 芸術展覧会
 art exhibition 逃走中 escape game 食べ物の屋台 food stall

(イ) 採点の基準

条件:文化祭で自分がしたことと感想を書いている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現の選択に優れ、理解しやすい英文を書いている。	条件を満たして詳しく書いて伝えている。	条件を満たして詳しく書いて伝えようとしている。
b	理解に支障のない程度の英文を書いている。	条件を満たして書いて伝えている。	条件を満たして書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5. 生徒の解答及び採点の結果の例

【生徒 A】

Hi, Tom. My school had a school festival. It was fun! My class did a haunted house. I played a ghost. My classmate made funny sounds. People enjoyed it.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 A	a	a	a
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		
	※ <u>下線部</u> は詳しく書いて伝えていると判断した根拠の例。		

【生徒 B】

Hi, Tom. Last week, at school festival, I played clalinet. I am a member of the brass

band. It was interesting.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 B	b	b	b
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

【生徒 C】

Hi, Tom. Last week was fun. Gesto can't Japanese. So I can speak English. Gesto say sank you.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 C	c	c	c
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

6. 留意点

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、自分の経験や感想を過去形などを使って表現するための活動を十分に行う。
- 「語彙や表現の選択に優れ、理解しやすい英文を書いている」「詳しく書いている」とはどのようなことか、事前に生徒に例示し、指導する。
- 書くためのフレームを示したり、語彙リストを与えたりするなど、必要に応じて支援をするとよい。

書くこと編 事例2

1. CEFR-J レベル: A2.1
2. 技能: 書くこと
3. Can Do: 日常的・個人的な内容であれば、招待状、私的な手紙、メモ、メッセージなどを簡単な語句や文で書くことができる。

4. パフォーマンステスト

(ア) 内容

あなたは留学生の John と、土曜日に遊ぶ約束をしています。土曜日のことについて John からメッセージが届いたので、返事を書きましょう。書く時間は10分です。

Hi! I cannot wait for this Saturday. Let's have Japanese food for lunch! What kind of Japanese food would you like to have? And what would you like to do after lunch? Looking forward to hearing from you.

Hi, John! _____

(イ) 採点の基準

条件: John からの二つの質問に答えている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現の選択に優れ、理解しやすい英文を書いている。	条件を満たした上で、詳しい情報を伝えたり、相手に質問をしたりしている。	条件を満たした上で、詳しい情報を伝えようとしていたり、相手に質問をしたりしようとしている。
b	理解に支障のない程度の英文を書いている。	条件を満たして書いている。	条件を満たして書こうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5. 生徒の解答及び採点の結果の例

【生徒 A】

Hi, John! I'm excited about this Saturday! My favorite Japanese food is sushi. I know a great sushi restaurant in our town. Let's have lunch there. After that, we can go to Yokohama Stadium. Let's watch a baseball game! What do you think?

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 A	a	a	a
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※下線部は、詳しい情報を伝えたり、相手に質問をしたりしていると判断した根拠の例。		

【生徒 B】

Hi, John. I like ramen best. I eat it every week. This Saturday, I want go to Enoshima and enjoy swim in sea. See you tomorrow.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 B	b	b	b
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

【生徒 C】

Hi, John! Halo. I laiku udon. I play soccer. I laiku play sakker.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 C	c	c	c
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

6. 留意点

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、日常的な内容を簡単な語句や文を使って表現するための活動を十分に行う。
- 「語彙や表現の選択に優れ、理解しやすい英文を書いている」「詳しい情報を伝えたり、相手に質問をしたりしている」とはどのようなことか、事前に生徒に例示し、指導する。

書くこと編 事例3

1. CEFR-J レベル: A2.2
2. 技能: 書くこと
3. Can Do: 聞いたり読んだりした内容(生活や文化の紹介などの説明や物語)であれば、基礎的な日常語彙や表現を用いて、感想や意見などを短く書くことができる。

4. パフォーマンステスト

(ア) 内容

あなたは、ALT の先生に頼まれて、日本語を勉強している中学生の息子のランディさんに、おすすめの本を提案します。下のカードを使って、本の概要と推薦の理由を説明するメッセージを書きましょう。書く時間は 15 分です。

To Randy

I would like to recommend _____

From _____

(イ) 採点の基準

条件1: 本の概要と推薦の理由を説明している。

条件2: 論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現の選択に優れ、理解しやすい英文を書いている。	二つの条件を満たした上で、具体的かつ詳細な理由や根拠を効果的に示しながら書いて伝えている。	二つの条件を満たした上で、具体的かつ詳細な理由や根拠を効果的に示しながら書いて伝えようとしている。
b	理解に支障のない程度の英文を書いている。	二つの条件を満たして書いて伝えている。	二つの条件を満たして書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5. 生徒の解答及び採点の結果の例

【生徒 A】

I would like to recommend one of my favorite Japanese books. The book is called “Kiki’s Delivery Service” by Kadono Eiko. The story is about a young witch named

Kiki. She moves to a new town to start her own delivery service. She has a black cat named Jiji as her companion. This book is great because the language is simple, and the story is funny and heartwarming. It also gives you a nice view of everyday life in Japan. I am sure you will enjoy it!

From Yuki

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 A	a	a	a
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※ <u>波線部</u> は、語彙や表現の選択に優れ、理解しやすい英文を用いていると判断した根拠の例。 ※ <u>下線部</u> は、具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら書いて伝えていると判断した根拠の例。		

【生徒 B】

I would like to recommend “Kiki’s Delivery Service.” You know the anime but it is a book written by Kadono Eiko. Kiki goes to a trip and become an adult. People help Kiki’s job. So, it is a nice story. You will enjoy it.

From Miyu

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 B	b	b	b
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

【生徒 C】

I would like to recommend Kiki’s Delivery Service is fun. It is easy book. Japanese can learn. The black cat is Jiji. Jiji is cute. I like it.

From Sho

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 C	b	c	c
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

6. 留意点

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、読んだ本の内容や感想を基礎的な語句や文を使って表現するための活動を十分に行う。
- 「語彙や表現の選択に優れ、理解しやすい英文を用いている」「具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら書いて伝えている」とはどういうことか、事前に生徒に例示し、指導する。

※単元：三省堂『New Crown3』 Lesson3 The Story of Sadako

1. CEFR-J レベル: B1.1
2. 技能: 書くこと
3. Can Do: 自分に直接関わりのある環境(学校、地域など)での出来事を、身近な状況で使われる語彙・文法を用いて、ある程度まとまりのあるかたちで、描写することができる。

4. パフォーマンステスト

(ア) 内容

あなたの学校は海外からの留学生向けに英語版のウェブサイトを作成しており、そこに掲載するために生徒の体験談を集めています。あなたが実際に参加した学校行事(運動会、文化祭、修学旅行など)での出来事を描写し、自分の役割、学んだこと、自分の変化について説明してください。書く時間は20分です。

(イ) 採点の基準

条件1: 学校行事での出来事を描写している。

条件2: 学校行事での自分の役割および、そこで学んだことや自分の変化について説明している。

条件3: 論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現の選択に優れ、理解しやすい英文を書いている。	三つの条件を満たした上で、具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら書いて伝えている。	三つの条件を満たした上で、具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら書いて伝えようとしている。
b	理解に支障のない程度の英文を書いている。	三つの条件を満たして書いて伝えている。	三つの条件を満たして書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5. 生徒の解答及び採点の結果の例

【生徒 A】

This year's culture festival was so much fun! My class made haunted house. We spent weeks making decorations and planning scary surprises. Since I had long hair, my classmates made me be Sadako! On festival day, lots of students and teachers came to visit. They screamed, laughed, and had a great time. But I think I was not good at being Sadako because everyone was not scared when they saw me.

There were many food stalls with delicious food like *takoyaki* and crepes. I also enjoyed other classes' creative booths and performances. This event taught me that teamwork is so important. We each had a unique role and used our strengths to help each other. I have come to love my classmates and our school more! I can't wait for next year's culture festival!

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 A	a	a	a
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※下線部は、具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら書いて伝えていると判断した根拠の例。		

【生徒 B】

This year's culture festival was fun! My class made haunted house. I played Sadako because I'm long hair. We prepared for many days. Many students and teachers visited and enjoyed our haunted house very much. No one was scared of me as Sadako. I ate delicious food like takoyaki and crepes. I enjoyed seeing other performances. I learned teamwork is important. I love my class and school more. I am looking forward next year's culture festival!

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 B	b	b	b
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

【生徒 C】

I like culture festival! My class did honted house. We prepare a lot. I'm become Sadako because long hear. Everyone not scary me. Many student and teacher come. They enjoy very much. I ate delicious food, takoyaki and kurepu. I can enjoyed paformansu. I learn teamwork. Chanji is I good friends with my classmates more.

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 C	c	c	c
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		

6. 留意点:

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、出来事などを描写するための活動を十分に行う。
- 「具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら書いて伝えている」とはどういうことか、事前に生徒に例示し、指導する。

※単元：三省堂『CROWN English Communication I』 Lesson 9 Our Lost Friend

書くこと編 事例5

1. CEFR-J レベル: B1.2
2. 技能: 書くこと
3. Can Do: 社会的な話題について、専門的でない語彙や複雑でない文法構造を用いて、自分の意見を含めて、基本的な内容を報告したりすることができる。

4. パフォーマンステスト

(ア) 内容

・指示文

あなたは、アメリカの高校に留学しています。企業による環境保全の取組について考える授業で、自分の意見を 200 words 程度で書き、クラスメートと共有することになりました。この意見文では、環境保全の取組を推進している企業を一つ紹介し、その企業の取組について、自分の意見を述べるよう指示されています。

あなたは、一つの企業を選び、企業の概要、環境保全の取組、関係する数量的データについて以下のメモを作成しました。これに基づき、原稿を書きましょう。制限時間は 40 分です。

<メモ>

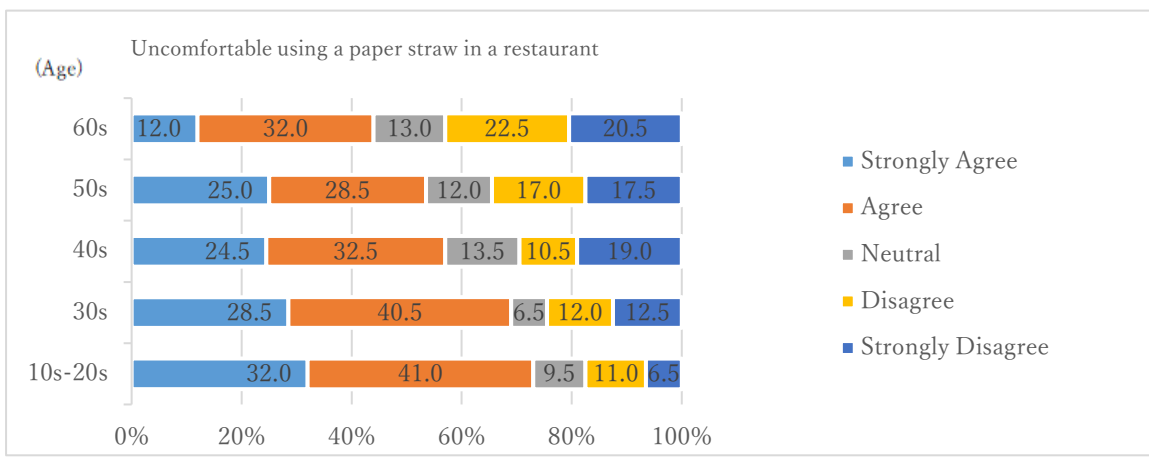
Company: CoffeeStar

- ・opened in 1971 in Seattle in the United States
- ・offer different kinds of seasonal drinks and sweets
- ・the first store in Japan opened in Ginza in 1996

Environmental Action

- ・said in 2018 that it would stop using single-use plastic straws in all stores by the end of 2020
- ・did so in 2024

Data



(イ) 採点の基準

条件1:一つの企業に関して、読んだことを基に業務概要と環境保全の取組について説明している。

条件2:関連する数量的データについて説明している。

条件3:企業による環境保全の取組について意見と理由を述べている。

	【知識・技能】 正確さ	【思考・判断・表現】 内容	【思考・判断・表現】 構成	【主体的に学習に取り 組む態度】
a	語彙や表現の選択に 優れ、理解しやすい英 文を書いている。	三つの条件を満たし た上で、意見を明確に 述べ、説得力のある客 観的な理由を示してい る。	複数の、それぞれまと まりのあるパラグラフ で書いており、一貫 性が構築されてい る。	三つの条件を満たし た上で、意見を明確に 述べ、説得力のある客 観的な理由を示そうと している。 複数の、それぞれまと まりのあるパラグラフ で書いて伝えようとし ている。
b	理解に支障のない程 度の英文を書してい る。	三つの条件を満たして 書いて伝えている。	複数の、それぞれあ る程度まとまりのある パラグラフで書いて いる。	三つの条件を満たして 書いて伝えようとして いる。 複数の、それぞれある 程度まとまりのあるパ ラグラフで書いて伝え ようとしている。
c	「b」を満たしていな い。	「b」を満たしていな い。	「b」を満たしていな い。	「b」を満たしていな い。
付 帯 事 項	「理解に支障をきたす 誤り」 ・文構造の誤り ・語順に係る誤り ・時制に係る誤り ・語彙選択の誤り 等により、意味伝達 に支障があるもの。	「意見を明確に述べ る」 ・何が課題かを述べて いる。 ・何に対して、どうすべ きかを具体的に述べ ている。 「説得力のある理由」 ・意見の正しさや、意 義を伝える説明をし ている。 ・読み手がすぐに理解 できるように、省略な	「まとまりのあるパラ グラフ」 ・パラグラフ内の全て の文が一つの話題 について書かれてい る。 「一貫性」 ・英文に流れがありス ムーズに読める。 ・ディスコースマーカ ーを効果的に置き、 読み方の案内をして いる。	

		く十分に説明している。 「客観的な理由」 ・数量的データに言及して、意見の根拠を示している。	・パラグラフ構成が分かりやすい。	
--	--	--	------------------	--

5. 生徒の解答及び採点の結果の例

【生徒 A】

CoffeeStar are coffee shops that opened in 1971 in Seattle in the United States. They offer different kinds of seasonal drinks or sweets. In Japan, the first CoffeeStar opened in 1996 in Ginza.

One of the things CoffeeStar has done for the environment is to introduce paper straws. In 2018, the company announced that it would eliminate the use of single-use plastic straws in all of its stores by the end of 2020, and it has done so.

I'm afraid that CoffeeStar's action of introducing paper straws is not a good strategy to be successful in business because it doesn't attract their customers, especially young people, their main target. Research shows that the younger people are, the more uncomfortable they are with using paper straws. Of course, abandoning plastic straws was a good move under the circumstances in 2018 to meet their corporate responsibility. However, now in 2025, they should adjust their plan by paying attention to their customer satisfaction, which varies widely. I suggest that CoffeeStar should let their customers choose their own straws from paper, bamboo, steel, or no straws. Then, their customers would feel more comfortable by actively taking their own actions on the environmental issues. Coffeestar should find better ways that would not ruin their customers' enjoyment.

	【知識・技能】 正確さ	【思考・判断・表現】 内容	【思考・判断・表現】 構成	【主体的に学習に取り 組む態度】
生徒 A	a	a	a	a
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。 ※破線部は、意見を明確に述べ、説得力のある客観的な理由を示していると判断した根拠の例。 ※下線部は、一貫性が構築されていると判断した根拠の例。			

【生徒 B】

CoffeeStar opened in 1971 in Seattle in the United States. It offer different kinds of season's drinks or sweets. The first store in Japan opened in 1996 in Ginza. It said in 2018 that it would stop using single-use plastic straws in all stores by the end of 2020

and did so in 2024.

A survey shows about 70% of people in 30s are uncomfortable using paper straws. More than 70% of people in 10s-20s are uncomfortable using paper straws. I do not think it is a good idea for CoffeeStar to use paper straws in their stores because of this. I think CoffeeStar should invent better straws than paper straws.

It is necessary for CoffeeStar to use plastics less in their coffee shops because customers are interested in business policy for the earth today. They choose to buy coffee at a store by this. I think a paper straw is a great action for the earth but not popular. People don't like paper straws. So, it's not easy but I think they need to find a new way for the earth that young people like. I am sure that CoffeeStar will succeed in market.

	正確さ 【知識・技能】	内容 【思考・判断・表現】	構成 【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り 組む態度】
生徒 B	a	b	b	b
「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。				

【生徒 C】

Company: CoffeeStar opened in 1971 in Seattle in the United States and offer different kinds of seasonal drinks or sweets, the first store in Japan opened in 1996 in Ginza. Environmental Action announced in 2018 that it would eliminate the use of single-use plastic straws in all of its stores by the end of 2020, has done so in 2024.

A survey shows that many people agree uncomfortable using a paper straw in a restaurant, especially 10s-20s. You should change paper straws but no plastic straws. Environmental action is important because of corporate responsibility.

	正確さ 【知識・技能】	内容 【思考・判断・表現】	構成 【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り 組む態度】
生徒 B	c	b	c	b
「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。				

6. 留意点:

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、練習用ライティング課題に取り組ませ、下書き、推敲、書き直しの段階を設け、まとまりのある英文を書く手順を体験させる。また、モデル文を示し、主題が明確な論理的な文章の特徴について指導し、パラグラフ内の構成、パラグラフ間の構成、事実・意見・一般論の捉え方、ディスコースマーカーなどの論理展開の指標となる表現についても指導を十分に行う。

- 「内容理解に支障をきたす誤り」「意見を明確に述べ、説得力のある客観的な理由を示している」「一貫性が構築されている」とはどのようなことか、事前に生徒に例示し、指導する。

※ 単元：増進堂『MAINSTREAM English Logic and Expression II』 Lesson 8 What We Can Do for the Environment

本事例は令和6年度教育課程推進委員(外国語)の実践研究における「書くこと」の単元の指導計画に基づいて作成されました。「令和6年度高等学校教育課程研究会研究報告第4集」は神奈川県立総合教育センターのホームページに掲載されています。

https://www.pen-kanagawa.ed.jp/edu-ctr/kenkyu/kyoiku_katei.html

1. CEFR-J レベル: B2.1
2. 技能: 書くこと
3. Can Do: 自分に関わりのある分野であれば、メールなどのフォーマルな文書を、感情の度合いをある程度含め、かつ用途に合った適切な文体で、書くことができる。

4. パフォーマンステスト

(ア) 内容

あなたは高校の英語クラブの部長です。今年の文化祭で、国際理解についてのイベントを企画しようとしています。高校の先輩である鎌田先輩から紹介されたアメリカから留学している大学生に講話をお願いします。次の内容で依頼するメールを書きましょう。指示されていない部分は自由に創作して構いません。書く時間は20分です。

名前: John Peterson
 日時: 2025年9月13日(土) 午前10時~11時
 場所: 善行高校 (Zengyo Senior High School)
 目的: アメリカと日本の文化の類似点や相違点を学ぶことで、国際理解を深める。

(イ) 採点の基準

条件1: イベントの日時、場所、目的を伝えている。

条件2: メールの形式に従って書いている。

条件3: 講話をお願いしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現の選択に優れ、理解しやすい英文を書いている。	三つの条件を満たした上で、熱意を伝えている。	三つの条件を満たした上で、熱意を伝えようとしている。
b	理解に支障のない程度の英文を書いている。	三つの条件を満たしている。	三つの条件を満たそうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

5. 生徒の解答及び採点の結果の例

【生徒 A】

Subject: Invitation to Our School Festival

Dear Ambassador Peterson,

My name is Junco Oishi. I am the president of the English Club at Zengyo High School. Kamada senpai gave me your email. I am writing to invite you to our school's culture festival. It will be held on September 13, 2025.

This year, we hope to learn about cultural similarities and differences. It would be great if you could talk about your country. You will inspire our students to understand cultural differences.

The event will take place at Zengyo High School from 10 a.m. to 11 a.m. Any travel costs will be covered by our school. We will provide lunch as well.

Thank you very much for considering our request. Please let us know if you can come. If you have any questions, please ask. We hope you can join us.

Sincerely,

Junco Oishi
President, English Club
Zengyo High School

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 A	a	a	a
	「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。		
	※ <u>二重下線部</u> は、熱意を伝えていると判断した根拠の例。		

【生徒 B】

Subject: Invitation to Our School

Dear Ambassador Peterson,

Hello, my name is Junco Oishi. I am a leader of the English Club at Zengyo High School. I got your email from Kamada senpai. I would like to invite to you in our school's culture festival on September 13, 2025.

At the festival, we hope you talk about your country and how it is similar and different from Japan. We believe this will be very interesting chance for the students and help them learn more about international culture.

The event will be held at Zengyo High School from 10 a.m. to 11 a.m. Thank you for reading my message. I hope you can come!

Best regards,

Junco Oishi

English Club President

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 B	b	b	b
「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。			

【生徒 C】

Subject: Please Come to Our Festival!!

Dear Ambassador Peterson. Hi, my name is Junco Oishi.

I am leader of the English Club. I am writing this letter because we have a culture festival on September 13.

We want you to come and talk about your country. Please talk about culture and same and different from Japan. This will be good for our students.

The festival is from 10 to 11 at our school. Please tell me if you can come.

Junco Oishi English Club

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒 C	c	c	c
「4(イ)採点の基準」に沿って、上記の通り評価した。			

6. 留意点:

- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、フォーマルなコミュニケーションが求められる場面において、読み手のニーズや読み手が期待することを踏まえ、自分の主張を書いて伝えるよう指導する。
- このパフォーマンステストを実施するまで単元の授業では、Eメールの書き方の指導や、気持ちが伝わるような表現を使用する活動を十分に行う。
- 「熱意を伝えている」とはどういうことか、事前に生徒に例示し、指導する。

参考文献等

- 投野由紀夫(編) 2013 『CAN-DO リスト作成・活用 英語到達度指標 CEFR-J ガイドブック』大修館書店
- 投野由紀夫・根岸雅史(編著) 2020 『教材・テスト作成のための CEFR-J リソースブック』大修館書店
- 根岸雅史 2017 『テストが導く英語教育改革』三省堂
- 根岸雅史 2007 『コミュニケーション・テストングへの挑戦』三省堂
- 国際言語文化アカデミア 2015 『高等学校英語教員のための定期テスト作成簡易マニュアル』
- 国立教育政策研究所『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校 外国語 令和3年8月』
- 国立教育政策研究所『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 外国語 令和2年3月』
- 国立教育政策研究所『令和5年度 全国学力・学習状況調査 報告書 中学校 英語』
- 文部科学省『各中・高等学校の外国語教育における「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標設定のための手引き 平成25年3月』
- https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/_icsFiles/afieldfile/2013/05/08/1332306_4.pdf
- 文部科学省『高等学校外国語科におけるパフォーマンステスト参考資料』
- https://www.mext.go.jp/content/20220715-mxt_kyoiku01-000021347_1.pdf
- 文部科学省 2018 『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 外国語編・英語編』
- 文部科学省 2018 『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編』
- 文部科学省『第4期 教育振興基本計画 本文』
- https://www.mext.go.jp/content/20230615-mxt_soseisk02-100000597_01.pdf
- 文部科学省『令和5年度 英語教育実施状況調査 概要』
- https://www.mext.go.jp/content/20240527-mxt_kyoiku01-000035833_1.pdf
- CEFR-J 研究開発チーム CEFR-J <https://www.cefr-j.org/>
- 『CEFR-J CAN-DO テスト:サンプル版』(Version 1.0)
- https://www.cefr-j.org/download.html#cefrj_testasks 2024年5月9日
- DeepL SE 2017 DeepL Write <https://www.deepl.com/ja/write>
- Mizumoto, A. 2021 New Word Level Checker [Web application]
- <https://nwlc.pythonanywhere.com/>
- 内田諭 2025 CVLA3.0: CEFR-based Vocabulary Level Analyzer <https://cvla.langedu.jp/>
- 内田諭 n.d. CWLA2: CEFR-based Writing Level Analyzer <https://cwla.langedu.jp/>

高等学校英語教員のための評価事例集 話すこと・書くこと編

発行 令和7年3月26日

著者 神奈川県立総合教育センター

高取 純子 大石 智子 鎌田 淳司

グエントアー パリセ ピーター

池田 知子 大槻 遼平 増島 真子 宮田 春奈

坐間 俊晴 飯沼 智哉 村越 みどり

(協力) ウォーリー ジェイコブ プラム ケネディ 松井 英

令和6年度教育課程推進委員(外国語)

発行者 倉田 寛

発行所 神奈川県立総合教育センター

〒251-0871 藤沢市善行7-1-1

Tel (0466)81-1635 (教育人材育成課)

ウェブサイト <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/edu-ctr/>



※本冊子については、総合教育センター ウェブサイトで閲覧できます。